

獨協大学父母の葉

2024

Contents ■■■■

学長挨拶	2
獨協学園・獨協大学の歴史	3
授業・成績	7
成績通知表の見方	11
学部	
全学共通授業科目	12
外国語学部	13
国際教養学部	15
経済学部	16
法学部	17
教職・司書教諭・司書課程	18
大学院	19
学習環境	
語学学習環境	20
外国語各種講座・補助制度	22
在学生が利用できるICT環境	24
図書館	25
留学	26
キャリア・就職支援	28
学生生活	
ハラスメント防止	31
障がいのある学生支援	33
保健センター	34
カウンセリング・センター	35
学納金	36
奨学金	39
課外活動	41
お問い合わせに関して	42
各種証明書、願・届出について	45
オープンカレッジ	46
大学よりみなさまへ	47
獨協大学父母の会	49
一般社団法人獨協大学同窓会	50
学生生活	
施設紹介（学生食堂、STYLE CAFE、STYLE CAFE STAND、キッチンカー、お弁当販売、ぶっくぎゃらりい DUO、セブン-イレブン獨協大学店、サービススポット DUO、アパート紹介サービス）	51

「父母の葉」は、父母の会の会員にお配りしています。在学中はお手元に置いて下さい。
なお、2024年3月現在の情報で記載しています。

ご父母・保証人のみなさまへ



学長 前 沢 浩 子

ロンドンの街角に立つ汚い花売り娘が、見事な貴婦人へと変貌するミュージカル『マイ・フェア・レディ』をご覧になったことはあるでしょうか。オードリー・ヘップバーン主演の映画でもよく知られています。このミュージカルの原作となったイギリスの劇作家バーナード・ショーの戯曲には、「花売り娘として扱われている限りは花売り娘のまま、けれどレディとして扱われることによってレディになる」という趣旨のセリフがあります。ここには広く、人間の成長について当てはまる真実が含まれています。若者は子供として扱われている限りは子供のまま、しかし大人として扱われることによって自立した成人へと変貌していきます。大学はそうした子供から大人への成長の場です。

獨協大学は初代学長天野貞祐先生の「大学は学問を通じての人間形成の場である」という言葉を建学の精神としています。若い人たちはしばしば「ほんとうの自分を見つけない」と語りますが、天野先生の「人間形成」という言葉には、自分とは「見つける」ものではなく、「作っていくもの」という意味が込められています。知識を広げ、理解を深めることによって、一人の人間として成長し、「ほんとうの自分」を作っていく。それが大人になることであり、人間形成です。

若々しくあることが礼賛され、特に日本では可愛らしく幼いものがもてはやされる傾向があります。相手を大人として尊重するためには、自らも大人にならなければなりません。それは時に厳しすぎることと感じられます。しかし人口減少、経済の停滞、AIの登場、国際情勢の不安定化など、先行きの見えにくい時代にあって求められるのは、自分の意見を持つ自律性と、他者を配慮する共感能力を併せ持つ成熟した人材です。若い者同士が甘え合うのではなく、成熟した者同士が支え合う社会を、私たちは求めていかなければなりません。今日、大学に課せられているのは、互いが大人になれる「成熟社会」を支える人材の育成です。

「獨協大学父母の会」は、ご父母・保証人の皆様との連携を図るとともに、学生の学修を支援していただくために、2006年に設立されました。教育活動のみならず、食や環境などを含めたキャンパスライフについても、みなさまに知っていただくためのイベント、広報活動等を行なってきました。また教職員がみなさまのご意見やご要望をうかがう、有益な機会ともなっています。若者たちが成熟した大人へと変貌する「人間形成」を、ご父母・保証人のみなさまが「獨協大学父母の会」を通して、見守り、応援していただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

獨協学園・獨協大学の歴史

前身は獨逸學協會學校

文明開化期のがが国で、進んだドイツの文化と学問を学び取る目的のもとに1881（明治14）年「獨逸學協會」（委員長・品川弥二郎）が設立されました。その中心となったのは、いずれも明治時代に偉大な足跡を遺した人々でした。この協会を母体として、1883（明治16）年、「獨逸學協會學校」が開校されました。初代校長は西周にしあまね〔日本近代哲学の父、東京学士会院（現・日本学士院）の会長〕、この時の主唱者には、品川弥二郎（内務大臣）、桂太郎（第2代校長、内閣総理大臣）、加藤弘之（第3代校長、東京帝国大学総長）、青木周蔵（外務大臣）、平田東助（内務大臣）、山脇玄（行政裁判所長官）ら、当時の日本近代化の第一線にいた人々が名を連ねています。



西周 (1829-1897)

獨逸學協會學校は、5年制の中学に法律・政治の専修科（大学に相当）を加えた専門学校であり、当時の明治法律学校（現・明治大学）、東京専門学校（現・早稲田大学）、英吉利法律学校（現・中央大学）などと並ぶものでした。

やがて専修科を廃止しましたが、ドイツ語を教える唯一の中学校として知られ、幾多の俊秀を世に送りました。とりわけわが国医学界の大先輩を多数養成したことは、周知の事実です。

戦後、新制中学・高校となった獨協学園は1952（昭和27）年に文部大臣（第3次吉田内閣）を辞した獨逸學協會學校中学出身の天野貞祐先生あまのていゆうを校長に迎えます。以来、学園は年を追って発展を遂げ、大学を要望する声も高まってきました。かくして1963（昭和38）年、学園創立80周年を機に、大学設立の大事業に踏み出すことになりました。

「大学は学問を通じての人間形成の場である」という天野先生の建学の理念にもとづき、1964（昭和39）年4月、獨協大学は開学しました。

開学時は、ドイツ語学科、英語学科、経済学科

の2学部3学科でしたが、現在は4学部11学科、大学院3研究科5専攻、エクステンションセンターを擁し、附属機関として図書館、国際交流センター、地域総合研究所、環境共生研究所、外国語教育研究所、情報学研究所、地域と子どもリーガルサービスセンターがあります。また16ヶ国50校と提携を結ぶなど、140年に及ぶ獨協の歴史は次代へとさらに発展を遂げつつあります。

獨協大学建学の理念

「大学は学問を通じての人間形成の場である」——これが本学の建学の理念です。本学の創設者・天野貞祐先生は獨協大学創設にあたり次のように述べました。

「人間形成はもともと人間一生の仕事であって、種々の方法によって行われる。スポーツ、茶道、宗教的修業、碁、将棋等々の如きはそれである。これらいずれの道においても、それに上達した人は人間としても達人といえること、ひとの一般に認めるところだと思ふ。しかし大学において人間をつくる道は学問でなければならない。大学は学問を通じての人間形成の場である、というべきである。学問はそれに没頭し努力せねばならぬ。心を統一して、それにうち込むことほど精神をねり人間をつくることはない。学問的努力によって確かに人間は形成される。意志は鍛練される。しかもその意志は純粹でなければならない。正直でなければ学問的追求は不可能だからである。」

“学問を通じての人間形成”——この言葉は大学、そして学問というものの本質を常に私たちに問いかけています。現在も、この建学の理念はますます強く、獨協大学に学ぶ者の原点として生き続けています。



天野貞祐先生の書斎を復元

天野貞祐記念館の1階に「獨協歴史ギャラリー」が設置されています。ギャラリーには獨協大学創設者・初代学長である天野貞祐先生が愛用していた机、椅子、書棚などを設置した自宅書斎の復元室、天野先生の直筆原稿、書簡などの展示コーナーがあります。

「獨協歴史ギャラリー」の開室日時などについては、学園史資料センター（電話 048-946-2800）までお問い合わせください。

『学生に与ふる書』（岩波新書）は、1939（昭和14）年初版の岩波新書です。“教養主義の定番本”として、戦前・戦後を通じて学生を中心に大ベストセラーとなりました。

『天野貞祐講話集』（獨協学園発行）は、第1回入学式での式辞や、開学当初折りに触れて行われた「学長講話」を収録したものです。

「創設者・天野貞祐」（ホームページ）



天野貞祐（1884-1980）

大学ホームページに「創設者・天野貞祐」サイトを開設しています。

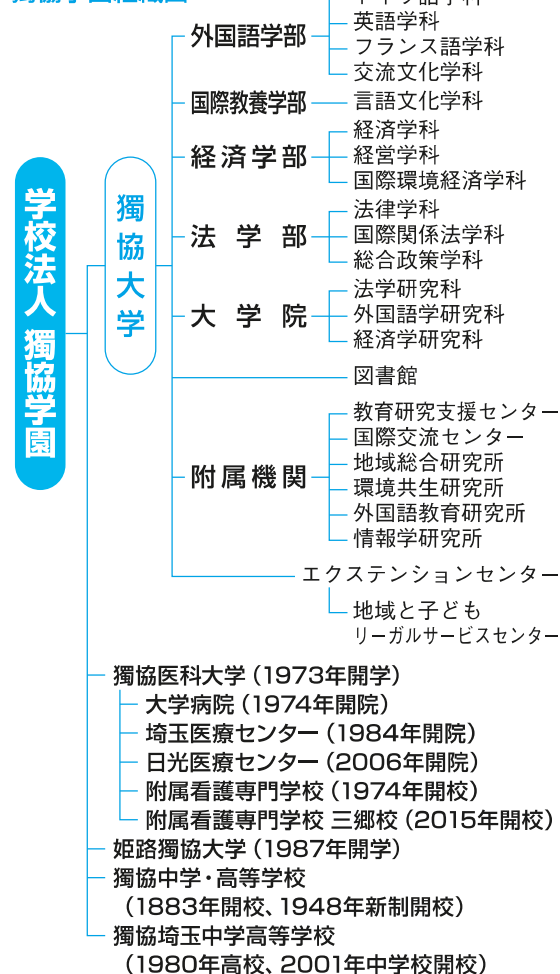
天野先生の年譜、著書一覧のほか、1964年4月1日の朝日新聞朝刊に掲載され大きな反響を呼んだ寄稿「獨協大学のねらい～学園を通じ人間形成の場に～」等を掲載しています。

このほか、「学長講話」の内容、卒業式での式辞等も掲載しています。獨協学園80周年記念式典での式辞「栄光の過去を土台に未来を見つめて——新大学の創設」（1963年10月22日）、第1回入学式での式辞（1964年4月26日）については、天野先生の肉声を聞くことができます。

獨協学園の構成

獨協大学のほか、同一法人内に獨協医科大学（附属3病院及び2看護専門学校を含む）、姫路獨協大学、獨協中学・高等学校及び獨協埼玉中学高等学校を擁しています。

獨協学園組織図



歴史ギャラリーヴァーチャルツアー

獨協歴史ギャラリーでは、館内の360°ヴァーチャルツアーを公開しています。

140年にわたる学園の歴史と伝統をご覧いただければ幸いです。



獨協大学の歩み

- 1964 (昭和 39) 年
 - ・埼玉県草加市に開学
 - ・外国語学部 (ドイツ語学科・英語学科) および経済学部 (経済学科) を設置
 - ・天野貞祐先生、初代学長に就任
- 1966 (昭和 41) 年
 - ・経済学部経営学科を増設
 - ・応援歌「覇者」発表
- 1967 (昭和 42) 年
 - ・法学部 (法律学科) を設置
 - ・外国語学部フランス語学科を増設
 - ・開学記念式典・校歌発表・建学の碑除幕
 - ・女子学生寮「敬和館」竣工
- 1968 (昭和 43) 年
 - ・外国語学部および経済学部専攻科を設置 (ドイツ語専攻、英語専攻、経済学専攻)
 - ・第 1 回卒業式
 - ・獨協大学同窓会設立
- 1969 (昭和 44) 年
 - ・経済学専攻科に経営学専攻を増設
 - ・司書課程認可
 - ・「獨協大学ニュース」創刊
- 1971 (昭和 46) 年
 - ・法学部に専攻科を設置 (法律学専攻)
 - ・外国語専攻科にフランス語専攻を増設
- 1977 (昭和 52) 年
 - ・大学院法学研究科修士課程を設置 (法学部専攻科廃止)
- 1981 (昭和 56) 年
 - ・「外国語教育研究所 (旧)」を設置
 - ・情報センター設置
 - ・中央棟竣工
- 1983 (昭和 58) 年
 - ・獨協学園創立 100 周年
- 1984 (昭和 59) 年
 - ・国際交流センター設置
- 1986 (昭和 61) 年
 - ・大学院外国語学研究科修士課程 (ドイツ語学専攻・英語学専攻) 設置
 - ・獨協大学、エセックス大学、デューズブルク大学の 3 大学合同国際シンポジウム開催
 - ・父母懇談会を全国で開催
- 1989 (平成元) 年
 - ・大学院法学研究科博士後期課程増設
- 1990 (平成 2) 年
 - ・大学院外国語学研究科博士後期課程 (ドイツ語学専攻・英語学専攻) 増設
 - ・大学院外国語学研究科博士前期課程 (フランス語学専攻) 増設
 - ・大学院経済学研究科修士課程設置
- 1991 (平成 3) 年
 - ・天野貞祐記念室設置
- 1992 (平成 4) 年
 - ・大学院経済学研究科博士後期課程増設
- 1994 (平成 6) 年
 - ・教養部廃止
 - ・大学院外国語学研究科博士後期課程 (フランス語学専攻) 増設
 - ・キャンパスソング「いつか」発表
- 1995 (平成 7) 年
 - ・第 6 棟竣工
- 1998 (平成 10) 年
 - ・(財) 大学基準協会より、相互評価の結果「大学基準に適合」の認定を受ける
- 1999 (平成 11) 年
 - ・外国語学部言語文化学科を増設
 - ・法学部に国際関係法学科を増設
 - ・35 周年記念館竣工
 - ・新校章、ロゴマーク、イメージキャラクター「どく太くん」発表
- 2000 (平成 12) 年
 - ・越谷グラウンド完成
- 2003 (平成 15) 年
 - ・獨協学園創立 120 周年
 - ・大学院外国語学研究科博士前期課程 英語学専攻英語教育専修コース (1 年コース) 増設
 - ・大学院経済学研究科博士前期課程 経済・経営情報専攻専修コース (1 年コース) 増設
 - ・エクステンションセンター設置
 - ・全学共通カリキュラム開始、学期完結制導入
- 2004 (平成 16) 年
 - ・獨協大学創立 40 周年
 - ・大学院法務研究科 (法科大学院) 設置 (2017 年 3 月廃止)
 - ・文部科学省「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」採択
 - ・獨協さくら橋完成

獨協大学の歩み

- 2005（平成 17）年
 - ・大学院外国語学研究科修士課程日本語教育専攻（1 年制）を増設（2020 年 3 月廃止）
 - ・「獨協におけるドイツ年 2005 / 2006」実施
- 2007（平成 19）年
 - ・草加市・獨協大学協働宣言を発表
 - ・国際教養学部（言語文化学科）を設置
 - ・天野貞祐記念館竣工、新図書館開館、人工芝グラウンド完成
 - ・「地域総合研究所」と「環境共生研究所」を設置
 - ・地域と子どもリーガルサービスセンター開設
- 2008（平成 20）年
 - ・（財）大学基準協会による第 1 期大学評価（認証評価）を受審し、「適合」認定を受ける
 - ・（財）日弁連法務研究財団より、認証評価の結果、「財団法人日弁連法務研究財団が定める法科大学院評価基準に適合」の認定を受ける
 - ・法学部に総合政策学科を増設
 - ・獨協大学環境宣言を発表
 - ・獨協大学父母の会設立
- 2009（平成 21）年
 - ・外国語学部 to 交流文化学科を増設
 - ・全カリ英語の取組が、文部科学省平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業（大学教育推進プログラム）」に採択される
 - ・「獨協大学における省 CO₂ エコキャンパス・プロジェクト」が国土交通省平成 21 年度（第 1 回）「住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業」に採択される
 - ・埼玉県より禁煙実施施設（建物内全面禁煙）の認証を受ける
- 2010（平成 22）年
 - ・獨協大学敬和会館、東棟竣工
 - ・教育研究支援センター設置
 - ・キャリアセンターの取組が、文部科学省平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業（就職支援推進プログラム）」に採択される
- 2011（平成 23）年
 - ・「外国語教育研究所」と「情報学研究所」を設置
 - ・DOKKYO ADMISSIONS OFFICE（DAO）開設
 - ・3 棟跡地に芝生広場整備
- 2012（平成 24）年
 - ・学生センター、学生センター別館竣工
- 2013（平成 25）年
 - ・獨協学園創立 130 周年
 - ・経済学部 to 国際環境経済学科を増設
 - ・学生センターが「2013 年グッドデザイン賞」受賞
 - ・地域と子どもリーガルサービスセンターが「平成 25 年度子ども若者育成・子育て支援功労者表彰（内閣府特命担当大臣表彰）」受賞
 - ・天野貞祐記念館、東棟および学生センターが、「第 19 回草加市まちなみ景観賞（建物景観部門）」受賞
- 2014（平成 26）年
 - ・獨協大学創立 50 周年
- 2015（平成 27）年
 - ・（公財）大学基準協会による第 2 期大学評価（認証評価）を受審し、「適合」認定を受ける
- 2017（平成 29）年
 - ・最寄り駅が「松原団地」から「獨協大学前（草加松原）」へ改称
 - ・創立 50 周年記念館「西棟」竣工
- 2019（平成 31 / 令和元）年
 - ・自律学習支援スペース「CLEAS」設置
- 2020（令和 2）年
 - ・獨協大学人権宣言を発表
 - ・レジャイナ大学（カナダ）との学術交流協定締結
- 2021（令和 3）年
 - ・「埼玉県 SDGs パートナー」に登録
 - ・大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業に採択される
 - ・福島県田村市と獨協大学との連携協力協定書締結
- 2022（令和 4）年
 - ・（公財）大学基準協会による第 3 期大学評価（認証評価）を受審し、「適合」認定を受ける
- 2023（令和 5）年
 - ・学生支援室設置
 - ・獨協大学コミュニティスクエア竣工
 - ・獨協大学コミュニティスクエアにおいて、CASBEE による建築物環境性能評価にて最高位である S ランク認証を取得しました。
- 2024（令和 6）年
 - ・獨協大学創立 60 周年
 - ・全学部生対象「情報科学教育プログラム」開始

授業・成績

問い合わせ先 教務課(東棟1階)

大学は自ら学ぶ場

大学は高校までと違って、学生が主体的に学ぶ場です。与えられた知識、技術を受動的に受け取るのではなく、自分自身で考え、行動し、創造していくことが求められます。

大学での自由な4年間は、ともすると「ただなんとなく」「とりあえず」のうちに終わってしまいかねません。「卒業後どんな進路を希望するのか、大学で何を学び、何を身につけて社会に出ていくのか」「どういう科目をどのように学ぶのか」、具体的な目標をたて、それに沿った学習計画を設定することが、まず望まれます。自ら学び、考える姿勢を身につける中で、学問のおもしろさを見出し、将来を見ずえる創造的な能力も培われていきます。

学習上の問題については、クラスアドバイザー、教務委員、演習(ゼミナール)の指導教員や教務課スタッフがアドバイスをしています。

本学のカリキュラムは、全学共通授業科目と専門科目を1学年から並行して学ぶことにより有機的なつながりをもたせ、少人数教育、現代社会の新しい話題をテーマにした複数の講師による総合講座の開講など、より深く、幅広く、総合的に学修*できるよう工夫されています。

また、学生が授業を受けるにあたっての羅針盤となる「シラバス(各科目の目標、年間計画、評価方法などを記載)」を作成しています。

大学生活が充実するかどうかは、このようなシステムを十分に活用できるかどうかにかかっています。

※学修…一般的な「学習」に対して、本学では、単位を修得する対象として科目を学ぶ場合に「学修」という語を用いています。

オリエンテーション

学部・学科・学年別に行います。新生には、高校までとの授業の違いや大学で授業を受けるための心構えなどの説明を行います。在学生には、

履修登録に必要な情報を配信し、履修上の注意、進級、卒業に必要な履修計画のたて方等の説明を行います。

履修登録

春学期・秋学期の初め、「履修の手引」「シラバス」「授業時間割表」をもとに、各自が履修計画を立て、履修登録を行います。履修登録をしていない科目は、授業へ出席し定期試験を受験しても単位を修得できません。

- 履修登録は、期間中に学生がオンラインで登録を行います。
- 事前に抽選を行う科目もあります。

授業

授業時間は次の通りです。

第1時限	9:00~10:40
第2時限	10:55~12:35
第3時限	13:35~15:15
第4時限	15:30~17:10
第5時限	17:20~19:00

科目

授業科目は、学期完結制(全ての科目が学期毎に完結する制度)で、留学を希望する学生にとっても合理的なシステムとなっています。

この他、夏季・冬季休業期間に集中講義が行われることがあります。

学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
学年制度	1年		2年		3年		4年	
学期完結制 度	1 学期	2 学期	3 学期	4 学期	5 学期	6 学期	7 学期	8 学期

他大学等の単位の認定

①留学先大学で修得した単位の認定

交換・認定留学により修得した単位は、32単位まで卒業要件単位として認定することができます。

②埼玉県東部地区大学・獨協医科大学単位互換制度について

文教大学（越谷市）、日本工業大学（宮代町）、埼玉県立大学（越谷市）、獨協医科大学（栃木県・壬生町）と単位互換制度を実施しています。これらの大学が指定した科目を履修し、修得した単位を、卒業要件単位に含めることができます。

③英検等の資格の単位認定

資格試験等で基準を満たした場合、本学の単位として認定されます。

試験

①定期試験

通常、春学期末（7月）・秋学期末（1月）に実施されます。詳細は、PorTaIIをご確認下さい。

②追試験

病気や就職試験等やむを得ない理由によって受験できなかった学生に対して行われますが、実施しない科目もあります。

③再試験

卒業または教育職員免許状および司書教諭・司書資格取得に必要な単位が足りない学生のうち、一定の要件を満たしている8学期生は再試験を受けることができます。

なお、英語学科・交流文化学科・経済学部の卒業については再試験の制度がありません。

成績

成績評価は、授業への参加度、平常点、試験・レポートなどにより総合的に行われます。各科目の評価方法については「シラバス」に記載されています。成績は、保証人には9月中旬、3月下旬に通知します。保証人への通知が不要の場合は教務課に届け出てください。

成績表の見方についての詳細は11ページの「成績通知表の見方」を参考にしてください。

学生による授業評価・教育環境改善アンケート

毎年、各学期末に「学生による授業評価アンケート」を実施しています。アンケート結果は各担当教員に伝達され、授業改善のための資料となります。

また、隔年で「学生による教育環境改善のためのアンケート」も実施しています。各部署ではアンケート結果を共有し、窓口や学生生活関連施設などの改善に努めています。

欠席届

教育実習および介護等体験による欠席を除き、本学には欠席届の制度はありません。やむを得ない理由で授業を欠席する場合は、個人の判断で事前または事後すみやかに科目の担当教員に直接申し出ます。但し、その申し出をどのように考慮するかは科目担当教員の判断に任されています。

休学・復学・退学

各学期の初めから休学を希望する場合は、「休学願および授業料等減免願」を教務課学事係に提出し、教育充実費（在籍基本料分）・諸費を所定の期日までに納付してください。なお、休学期間は通算して4年を超えることができません。

復学を希望する場合は、「復学願」を教務課学事係に提出し、復学健診を受診してください。

退学を希望する場合は、「退学願」を教務課学事係に提出してください。退学日は、各学期末、あるいは各月末となります。なお、当該学期の納付金を納付していない場合は退学申請できません。

各種提出用紙、手続きの詳細については、本学ホームページをご確認ください。

転部・転科

他の学部・学科に変わることを転部・転科といいます。受験に必要な出願資格・要件・試験科目は、学科・学年で異なります。なお、休学中の受験は認められません。出願要項は試験実施の前年9月下旬より教務課免許課程係窓口及びPorTaIIダウンロードセンターで配布、試験は2月下旬または3月上旬に行われます。

進級要件

進級要件は学部・学科の特性により異なります。学年が上がるにつれ就職活動などでやむを得ず授業を欠席する場合も出てきますので、4年間で卒業するには進級要件を意識することはもちろん、1学年から目的意識を持ち計画的に単位修得していくことが必要です。

なお、ドイツ語学科・英語学科・交流文化学科・国際教養学部・経済学部には進級制度はありませんが、各学年で所定の単位を修得しないと4年間で卒業できなくなります。

2022年度秋学期（3月）進級状況

学年	学科	対象者数	進級者数	留年者数	留年率
1→2年	フランス語	102	93	7	6.9%
2→3年	フランス語	104	100	3	2.9%
	法律	229	221	8	3.5%
	国際関係法	92	86	5	5.4%
	総合政策	81	78	2	2.5%

※休学・未登録者は留年者数から除く。

卒業見込証明書の発行について

卒業見込証明書は、下の修得単位を満たしている場合に、7学期以降発行します。

申請者	証明する期日	
	翌学期	現学期
4学年(7学期)	80単位	104単位
4学年(8学期)	80単位	

卒業要件

卒業するためには修業年限（4年間）を満たし、かつ所定の科目および単位を修得することが必要です。卒業に必要な総単位数は、128単位となっていますが、学部・学科の特性によって必修・選択必修・選択科目の単位数が異なります。

2022年度秋学期（3月）卒業状況

学科	対象者数	卒業者数	留年者数	留年率
ドイツ語	131	113	9	6.9%
英語	290	242	35	12.1%
フランス語	99	91	1	1.0%
交流文化	110	98	7	6.4%
言語文化	171	140	16	9.4%
経済	302	276	20	6.6%
経営	312	277	28	9.0%
国際環境経済	135	121	12	8.9%
法律	223	209	14	6.3%
国際関係法	82	77	4	4.9%
総合政策	70	65	4	5.7%
総計	1,925	1,709	150	7.8%

※休学・留学は留年者数から除く。

学士の名称

所定の卒業単位を修得した学生には、学士の学位が授与されます。学位に付記する専攻分野の名称は次の通りです。

学科	名称
ドイツ語学科	学士（外国文化）
英語学科	学士（外国文化）
フランス語学科	学士（外国文化）
交流文化学科	学士（外国文化）
言語文化学科	学士（外国文化）
経済学科	学士（経済学）
経営学科	学士（経営学）
国際環境経済学科	学士（経済学）
法律学科	学士（法学）
国際関係法学科	学士（法学）
総合政策学科	学士（法学）

クラス・アドバイザー制度

入学時は、学科ごとにクラス編成が行われ、各クラスにクラス・アドバイザー（クラス担任）が置かれます。クラス担任制度は、本学の創立直後より続く伝統的な制度です。

クラス・アドバイザーは、大学生活のとまどいや、

疑問に答える学生の相談役として、各学科所属の専任教員が担当しています。

ゼミ（演習）に所属する学年（学期）では、各ゼミ担当教員が、学生の指導にあたります。

学科によっては、ゼミに所属しない（演習科目を履修しない）学生もいます。

2024年度クラス・アドバイザー一覧

外国語学部

ドイツ語学科

1組	青山 愛香	2組	伊豆田 俊輔
3組	上村 敏郎	4組	大重 光太郎
5組	佐々木 淳希	6組	常石 史子
7組	三宅 舞	8組	佐々木 優香

英語学科

1組	A.ゾーリンジャー	2組	A.ジェネス
3組	安井 美代子	4組	板場 良久
5組	青柳 真紀子	6組	工藤 和宏
7組	松本 健太郎	8組	佐野 康子
9組	児玉 真希	10組	伊藤 兵馬
11組	水本 義彦	12組	船越 健志

フランス語学科

1組	B.ソゼド	2組	木田 剛
3組	森井 良	4組	阿部 明日香
5組	尾玉 剛士		

交流文化学科

1組	須永 和博	2組	永野 隆行
3組	山口 誠	4組	鈴木 涼太郎
5組	大野 恵理		

国際教養学部

言語文化学科

1組	浅山 佳郎	2組	平田 彩奈恵
3組	和田 一郎	4組	依田 珠江
5組	野澤 聡	6組	堀川 宏

経済学部

経済学科

1組	市原 博	2組	山本 裕
3組	山森 哲雄	4組	吉田 翔平
5組	徳永 潤二	6組	岩田 安晴
7組	黒木 亮	8組	熊本 尚雄
9組	湯川 益英	10組	西牟田 祐二
11組	野村 容康	12組	本田 浩邦

経済学部

経営学科

1組	福田 求	2組	大坪 史治
3組	周 劍龍	4組	山崎 尚
5組	鈴木 淳	6組	松原 沙織
7組	平井 岳哉	8組	小林 哲也
9組	松本 守	10組	高松 和幸
11組	脇 拓也	12組	有吉 秀樹

国際環境経済学科

1組	大竹 伸郎	2組	米山 昌幸
3組	童 適平	4組	大床 太郎
5組	藤山 英樹	6組	古川 光明

法学部

法律学科

1組	網谷 壮介	2組	大川 俊
3組	岡田 順太	4組	小川 健
5組	木藤 茂	6組	榊原 嘉明
7組	柴田 守	8組	神馬 幸一
9組	杉浦 林太郎	10組	高田 久実
11組	張 睿暎	12組	納屋 雅城
13組	藤田 貴宏	14組	安原 陽平
15組	吉川 信將	16組	関根 徹
17組	高橋 均		

国際関係法学科

1組	一之瀬 高博	2組	大藤 紀子
3組	鈴木 淳一	4組	宗田 貴行
5組	L.ペドリサ	6組	山田 恒久

総合政策学科

1組	大谷 基道	2組	作内 由子
3組	徳永 光	4組	野崎 亜紀子
5組	服部 麻理子	6組	村井 哲也

学部共通

20組	大谷 基道(兼)
-----	----------

クラス・アドバイザーは変更になる可能性があります。

成績通知表の見方

「評価」欄の記号の説明

評価	説明
AA(特優)	100点～90点
A(優)	89点～80点
B(良)	79点～70点
C(可)	69点～60点
F(不可)	60点未満
FG(不評)	単位を修得できなかった科目(不合格) TGIは卒業生のみ対象で卒業再試験を許可しない科目
X(評価不能)	試験を受験していない、レポートを提出していないなど、成績評価をするための手がかりがない科目
P(認定)	他大学で修得した単位などを、本学の単位として認定した科目

選択したコースの卒業要件で集計されています。集計表の項目は、学部学科により異なります。なお、コースが決定していない学生は、仮に次の通りに集計しています。

- ドイツ語学科：芸術・文化研究コース
- 英語学科：グローバル社会コース
- フランス語学科：フランス芸術文化コース
- 法律学科：行政法務コース

「必要単位数」欄の数字が卒業に必要な単位数、「修得単位数」欄の数字が実際に修得した単位数です。この「修得単位数」がすべて左の「必要単位数」に達した場合、卒業単位を満たしたことになります。なお、卒業要件単位として認められる科目については「履修の手引」に記載されています。

各学期および通算の成績をGPAという指標で数値化し一覧表示しています。

GPAは((Aの単位数×4) + (Aの単位数×3) + (Bの単位数×2) + (Cの単位数×1)) ÷ 登録単位数(果積)で算出されます。(免許科目は除く)
最高点は4.00で最低点は0.00です。

学生の所属する学部、学科、学年、組・コース、氏名、生年月日等が記載されます。

休学・退学等、学籍の異動に関することはこの欄に記載されます。

20X×X年度 ○学期
成績通知表

○○学部 ○○学科
(学籍番号) XXXXXXXXXX
(氏名) 獨協 一郎

340-0042
草加市学園町○-△
獨協 一郎様

修得単位と登録単位の合計		卒業要件単位内訳		卒業要件単位内訳	
自 学 科	他 学 科	他 学 部	そ の 他	必要単位数	登録単位数
40				16	12
				6	0
				16	6
				48	2
				12	0
				4	4
				14	10
				12	6
				128	40
				0	0

(Grade Point Average)		
年度	学期GPA	通算GPA
2019	秋学期 4.00	3.55
2019	春学期 4.00	3.55
2018	秋学期 3.73	3.54
2018	春学期 3.82	3.50
2017	秋学期 3.41	3.41
2017	春学期 3.05	3.40
2016	秋学期 3.89	3.61
2016	春学期 3.33	3.33

科目名：履修登録した科目・単位を修得した科目の名称
担当教員：各科目を担当している教員の氏名
単 位：科目ごとに定められている単位数
評 価：評価基準をもとに、担当教員が行った評価
年 度：単位を修得した年度

全学共通授業科目

外国語学部 国際教養学部 経済学部 法学部

現代の世界では様々な問題が起きています。たとえば、アフリカの干ばつや食糧問題、平和や環境問題など数多くの難題を抱えています。しかも、どの問題一つとっても、全世界、地球的規模で取り組まないと解決のつかない問題ばかりです。

しかし、いまだ世界には、そのための共通の精神的基盤や世界を結ぶ、普遍的なよりどころが見いだせない状態も続いています。ゆえに本学が標榜している建学の理念、すなわち「大学は学問を通じての人間形成の場である」の重要性があります。この理念・基盤なくして世界の諸問題、ひいては幸福や平和を学ぶこと、語ることはできません。本学では、この理念のもと、新しい教養主義を掲げ、全学共通カリキュラムを通じて、理想実現に向けて取り組んでいます。

全学共通カリキュラムでは、それらを支える技術や方法など多岐にわたる問題群も取り入れながら、ともに人生の上で大切な教養の問題について取り上げています。

全学総合講座部門

主として1年生を対象としたオムニバス形式の授業です。この授業を担当する教員（コーディネーター）が授業のフレームワークを考案・構成し、外部から招聘するゲストスピーカーが多く登場します。社会で起きていることや学生生活に関連すること、各テーマに沿った学問の世界を広げていくことを目的とし、学生の興味・関心を学問世界へと誘います。知識を獲得することも大切ですが、むしろここでの授業は視野を広げることに主眼をおいています。

全学共通講義科目部門

講義形式の科目です。従来の基礎科目に相当する広く概括的に論じていく概論科目から各論科目まで幅広く用意されています。

全学共通実践科目部門

少人数で行う実践的な科目です。講義だけではなく、フィールドワークや実験など実技実習を含み、問題発見・解決を行います。

スポーツ・レクリエーション部門

スポーツ・レクリエーション科目です。この科目は、現在および将来の健康で充実した生活のために、健康を創り、維持し、守ること、自由時間をより充実させるための態度、知識、技術を身につけること、学生間の交流を促すことを目的に設置されています。

英語科目

21世紀の実社会に貢献しうる国際人の育成のために、外国語基礎教育を全学で共通して行います。授業定員を少人数に抑え、「英語」については、英語学科、交流文化学科、言語文化学科を除く全学生が、全学共通カリキュラムの英語科目を履修します。また、英語学科、交流文化学科、言語文化学科を含む全新生がTOEIC® LISTENING AND READING TEST (IP)を受験し、そのスコアによりクラス分けをして習熟度別授業を行っています。1学年の1月には、全員が再びTOEIC® LISTENING AND READING TEST (IP)を受験し、学修の成果を確認します。

また、「Academic Reading Strategies」や「Academic Listening Strategies」などの科目では、積極的にe-learningを活用しています。これは、授業時間のみでなく空き時間や放課後を利用し、コンピュータ教室で自律学習ができるというもので、多方面から英語力アップをめざし努力しています。

英語以外の外国語

ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語、アラビア語、現代ヘブライ語、トルコ語が学べます。週2コマの総合コースと、週1コマの基礎コースがあります。

その他、全学共通実践科目として、古典ギリシャ語、ラテン語が学べます。



外国語学部

外国語学部では、専攻する言語を通じてコミュニケーション能力の向上を図り、その言語が使用されている文化圏、あるいは、交流する文化の諸相への理解を深めることを目標として、各学科のカリキュラムが編成されています（各学科の項参照）。

これに加えて、以下の通り「外国語学部共通科目」と「提携科目、合併科目」を置き、学科の専門領域を越えた総合的な知識を修得し、国際的・学際的な視野を身につけた人材の育成を目指しています。

<外国語学部共通科目>

①総合講座

4学科の教員が協力してオムニバス形式で実施する講義科目です。設定されたテーマに詳しい外部講師を招く場合もあります。

②情報科学概論、情報科学各論

各論については、「Word 中級」、「Office 中級」、「HTML 初級・中級」、「ヨーロッパ言語」などを開講しています。これに、全学共通カリキュラムや経済学部の情報系科目を組み合わせることで、データサイエンスに関する基礎知識を身につけることができます。

③学科横断演習

4学科の教員が交代で担当する、アクティブラーニング型の授業です。担当教員によっては授業全般を英語で行うこともあります。

<提携科目、合併科目>

「交流文化論」をはじめとして、他学科の専門科目を自学科の専門科目として履修することができます。

ドイツ語学科

- ①1学年（1・2学期）では、ドイツ語圏の専門知識を修得する土台となる「基礎演習」が少人数ゼミ形式で実施されます。これと連動する形で、学年全体で「リベラルアーツⅠ」および「アカデミックスキルズ」を履修し、大学での学びの技法を修得します。2学年からは、「Seminar」「Projekt」「専門演習」「専門講読演習」「卒業論文演習」といったゼミが始まり、高い専門性を身につけ、4年間で培った知識と技術を必修の「卒業論文」や「ドイツ語卒業研究」という形で表現します。

- ②1学年から3学期まで週6回実施される「ドイツ語」の授業で、文法知識に根ざして4技能（聞く・話す・読む・書く）を集中的に伸ばします。選択ドイツ語科目「Kontext」では、レベル別にドイツ語で様々なトピックを学ぶことができます。また、「German Studies in English」では英語を用いてドイツ語圏に関する知識を深め、説明する力を養います。
- ③3学期目からは、実践的なドイツ語運用能力を養う「プロジェクトコース」または様々な専門性を身につけ、ドイツ語圏から世界を読み解く力を養う「リベラルアーツコース」を選択します。いずれのコースを選択しても、別コースの授業を選択自由科目として履修可能です。

コース：プロジェクトコース

リベラルアーツコース

- ④「学外ドイツ語活動」という科目では、夏期短期研修やタンデム活動など大学外で学んだことを単位として認定します。これにより学生の自発的なドイツ語習得を支援し、積極的な言語学習を促進します。

英語学科

- ①英語基礎科目の英語の授業は学習効果を上げるため少人数クラスとし、入学時に受験するTOEIC® LISTENING AND READING TEST (IP) のスコアに基づきレベル別で行うため、自分の実力に合ったクラスで学ぶことができます。「国際関係入門」「メディア・コミュニケーション入門」「英語圏の文学・文化・歴史入門」「英語学入門」は1学年（1・2学期）の必修科目となっており、2年次から始まる専門科目の全体像をつかむことができる内容となっています。
- ②2学年（3・4学期）以降は、自分の英語力に合った英語応用科目を選択し、運用力の強化に努めます。また、2年次には専門科目の学修が始まり、選択したコースの科目を中心に学びを

深めていきます。さらに自分の興味に合わせて、他コースの専門科目も履修できます。

コース：グローバル社会コース
メディア・コミュニケーションコース
文学・文化・歴史コース
言語コース

- ③ 3・4学年（5～8学期）では、ゼミを中心に各自の問題意識あるいは将来の計画に即し、専門分野を系統的に深く学修します。

フランス語学科

- ① 「フランス語」の授業では、1・2年次（1～4学期）に週5～6回の授業を通じて、少人数で集中的にフランス語の基礎学力を養います。外国人教員による「会話」「聴解」では生きた言語に触れ、「総合」ではことばの四技能を3年間かけて統合していくというように、初歩から国際社会で通用するレベルまで段階的に伸ばしていきます。
- ② 1・2年次（1～4学期）から「フランス語圏文化構想入門」「フランス語圏社会共創入門」等の科目で、フランス語が話されている地域の地理、歴史、社会、文化、芸術などを学び、学科が提供する専門の概要をつかみます。
- ③ 3年次（5学期）からコースを選択し、ゼミを中心に専門の科目を履修しながら、得意分野の知識やスキルを高めていきます。

コース：国際発信コース
文化構想コース
社会共創コース

交流文化学科

- ① 英語の授業は、入学時に行われる TOEIC

Listening and Reading Test® (IP) のスコアに基づいた習熟度別クラスで実施します。1年次には、週4回の英語の授業に加え、英語での講義科目である Introduction to Cultures Around the World が新たに必修となり、4技能の能力を高めるだけではなく、異文化を理解し価値観の多様性を学びながら英語コミュニケーション能力の向上を図ることができます。Roundtable Discussion は、12人程度の少人数クラスで、座談会形式で行われ、英語母語話者の教員とともに、多様なテーマについてディスカッションします。この2つの科目は、交流文化学科独自の英語コミュニケーション科目として新設されました。すべての英語科目において、学生が主体的にアウトプットできる授業となっています。また、各学期に複数開講されている学科専門科目の英語の授業（選択科目）では、英語学科の学生とともに、切磋琢磨しながら学ぶことができる環境が整っています。

- ② さらに2つめの外国語として、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の5つの言語からひとつを学習し、1学年・2学年に週3回、3学年にも週1回の授業があります。
- ③ 専門科目については人の移動や交流、観光現象を考える「ツーリズム」、多文化の共生を考える「トランスナショナル文化」、国際的・地球的問題を考える「グローバル社会」の3部門に充実した授業科目を用意しています。本学科ではコース制は設けておりません。各自の興味と探求心に応じた専門的な勉強をすることができます。
- ④ 世界のさまざまな地域での調査研究、企業や政府機関での実務経験がある教員が、多様性を尊重した雰囲気の中で、授業やゼミを指導。1年次の基礎演習から3・4年次の演習までの少人数制クラスにより、面倒見のよい教育環境を実現しています。



国際教養学部

国際教養学部は、複数外国語と諸地域の文化の修得を基本とした国際的な教養を身につける学部です。欧米偏重の姿勢を改め、環太平洋地域を見据えた諸地域（スペイン・ラテンアメリカ、中国、韓国および日本）の言語・文化・社会を教育・研究します。

複数言語の習得に加え、各地域研究、日本語教育、多文化共生、国際交流等、さまざまな教養科目群を履修することにより、柔軟なコミュニケーション能力、国際社会に貢献するという意識、また幅広い基礎教養を単なる知識ではなく生き方を考える方法と捉え、それらを確実に身につけた人材を養成することを目指します。

言語文化学科

- ① 1学年では「基礎演習」（2023年度以前入学者）／「基礎演習 a」「基礎演習 b」（2024年度以降入学者）が必修で、これが入学時の所属「組」となります。2～4学年では「演習」および「卒業研究」が必修で、実質上の「組」の役割を果たします。これらの科目の担当教員が履修や学生生活の相談・指導も行います。
- ② 2つの外国語を併習します。次の3つの組み合わせのうち1つを入学時に選択して履修します。外国人学生、帰国学生は状況に応じ日本語を組み合わせて履修します。

英語とスペイン語

英語と中国語

英語と韓国語

- ③ 「基礎演習」（2023年度以前入学者）／「基礎

演習 a」「基礎演習 b」（2024年度以降入学者）や外国語のほか、「言語文化論」（2023年度以前入学者）「哲学Ⅰ」が1学年（1・2学期）の必修科目です。これらの科目を通して学生生活の基盤になる素養を身につけ、のちの大学4年間の履修計画を作ります。

- ④ 選択科目として主に8つの研究科目群（2023年度以前入学者）／10の研究科目群（2024年度以降入学者）のなかから2つを中心に自由に選択し、自身の興味関心に応じた科目を学びます。

（2023年度以前入学者）

研究科目群：スペイン・ラテンアメリカ、中国、韓国、日本、言語教育、グローバル社会、人間発達科学、総合科学

（2024年度以降入学者）

研究科目群：スペイン・ラテンアメリカ、中国、韓国、日本、言語教育、グローバル社会、教育科学、人文学、認知・行動科学、データサイエンス

- ⑤ 4学年（7学期）では「哲学Ⅱ」が必修です。1学年（1学期）の「哲学Ⅰ」で学んだ問題提起やものの考え方を4年間の学生生活を振り返って省察し、さらに考えを進めていきます。
- ⑥ 「外国語（英語）」「社会」「地理歴史」「公民」の教員免許の取得が可能です。
- ⑦ 海外実践プログラムとして、海外の大学の学生とオンライン上で共通の課題に取り組む（比較文化演習（COIL））ことや、大学で学修した言語を手掛かりに海外のオフィスで経験を積む海外インターンシップを行うこと（海外研修）が可能です。



経済学部

経済学とは人間社会の経済活動のルールを過去・現在について学び、その知識をこれからの世の中にどう生かすかを考える学問です。経済学部では、その基礎理論から実務的な内容までを体系的に学びます。このような「経済学部の学び」を、2020年度から開設した経済学部公式X(旧Twitter)とYouTubeチャンネルを活用し、学内外に幅広くアピールしています。

経済学科、経営学科および国際環境経済学科の科目・カリキュラムは密接に結びついているため幅広い領域を学ぶことができます。

まず、初年度教育が重要なため、1学期に大学での学習のスキルを身につけることを目的とした「クラスセミナー」を設けています。2024年度入学者から、1,2学期では「コンピューターリテラシー」を必修とし、全員がプログラミングの基礎の範囲まで学びます。そして最大の特徴は2年生(3学期)から4年生(8学期)まで「演習」を必修とし、少人数教育を徹底しているところにあります。演習と学科専門科目、そして2024年度入学者から選択可能な「情報科学教育プログラム」、また外国語教育により、社会に役立つ人材の育成を目指しています。



経済学部の
X(旧Twitter)
アカウント

経済学部の
YouTube
アカウント



経済学科

①理論・実証を中心とした体系

現実の経済現象について自分の頭で分析・理解する能力が身につくように、「上級ミクロ経済学」「上級マクロ経済学」「日本経済史」をはじめ「国際経済学」「行動経済学」「公共経済学」「金融論」など、理論・実証を中心とした授業を行っています。

②世界に目を向けたカリキュラム

日本経済のみならず世界各地の経済に目を向けグローバルな専門知識が身につくように、「国際経済」部門では、アメリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、東アジア・中国、東南アジア、南アジア、オセアニア、中東、アフリカの9地域の科目を用意しています。

③履修モデル

「経済理論」「総合政策」「国際経済」の3つの履

修モデルがあります。理論をはじめとして経済政策関連科目、世界全地域を網羅した地域経済関連科目等を配置し、地球規模での経済問題の理解という関心に十分応える内容になっています。

経営学科

①変化に適応できるビジネス力を育成

経営学科では、複雑に変化するビジネス環境の動向を分析し、企業活動を円滑に進めるために要求される知識の修得を目標とします。経営戦略、マーケティング、会計、専門英語といったさまざまな専門科目の学習を通じ、変化に素早く適応して意思決定できるビジネスリーダーの育成を目指します。

②実践的なコンピュータ教育

企業活動では、コンピュータを活用した業務の効率化が不可欠です。情報科学を専門とする教員がAI、データベース処理、ウェブデザイン教育を担当し、コンピュータをビジネスで有効利用するスキルの獲得を実現します。

③履修モデル

企業活動を支える「マネジメント」「ビジネス」「会計」「情報」を身につける、4つの履修モデルを用意しています。各履修モデルで指定した科目を順序立てて学ぶことで、効率的にビジネス力を向上できます。

国際環境経済学科

①国際性を備えた人材の育成

グローバルな視点で問題解決を探り、多様な人々とコミュニケーションができる人材を育成します。そのために、経済・経営学科以上に英語教育に力を入れ、「国際」部門の科目もたくさん設置しています。

②経済学の周辺領域も強化

経済学の周辺学問領域についても幅広く学べるよう、「環境」「調査・統計分析」「地域・実践」といった、広範囲にわたる学びが可能となるようにカリキュラムを編成しています。

③履修モデル

「環境経済」「国際政策」の2つの履修モデルがあります。環境問題への対処方法、持続可能な社会の構築について学ぶ他、開発、貿易といったグローバルな問題を経済学的な視点でどう考えるかを学ぶカリキュラムを配置し、グローバル社会においてリーダーシップのとれる人材の育成を目指します。



法学部

法学教育の目的は、法知識の修得を通じて法的思考の能力涵養を図り、健全な常識と柔軟な思考を身につけた自律的な社会人を養成することにあります。

法学は他の学問分野に比較して、より専門技術的な性格をもち体系的を重んずる学問ですが、本学部では入門科目から基礎科目、専門科目へと学年ごとに段階を追って学修できるようになっています。また、入門演習担当教員がそのままクラスアドバイザーを兼ね、授業や学生生活等に関して、個々の学生に対し行き届いた指導を行います。

- ① 1 学年春学期は「入門演習」を必修とし、大学生としての基本的な素養を身につけます。そして春学期から秋学期にかけて「憲法入門」「民法入門」等の入門科目を学びます。また「コンピュータ入門」も設けています。
- ② 2 学年では「基礎演習」が必修となり、基礎的知識の修得と技法を学びます。また、法と政治についての今日的なテーマについて、外部の専門家も招き、さまざまな角度から検討を加える「法政総合講座」も設置しています。
- ③ 3・4 学年では、各専門分野の理解をより深めます。「専門演習」(選択制)では、専攻分野の知識を体系的に修得すると同時に、より高度な学習技法を主体的な参加型の授業形式で学びます。
- ④ 法律学科・国際関係法学科では他学部の科目を履修しても卒業単位とはなりません。法学部の他学科科目については、16 単位まで卒業に必要な選択科目に代用できます。総合政策学科では、学部を問わず他学部他学科の科目について、16 単位まで卒業に必要な選択科目に代用できます。

法律学科

行政法務コース

公法関係の科目が中心のカリキュラムで、国家公務員、地方公務員、教員、マスコミ関係の仕事や、政治の世界で働くことを目指す学生を対象にしています。

企業法務コース

私法関係の科目が中心のカリキュラムで、法的

な素養と知識を活かし銀行、商社等の一般企業で活躍できる学生の養成を目的としています。

法曹コース

法科大学院に進学希望する学生、将来、弁護士・裁判官・検察官等の法律専門職を目指す学生を対象としている。

※ 本コースは連携法曹基礎課程ではありません。

国際関係法学科

外国語能力と法学・政治学の知識を総合して国際社会で活躍しようとする学生のために開設した学科です。学生の特性を最大限に伸ばすために必修科目を少なくしています。また、国際人養成のために国際法・国際政治など国際関係分野に重点をおいた科目を学びます。

総合政策学科

法学・政治学の素養をもとに、グローバルな見識と思考力を持ち、地域社会を多角的・学際的な観点から分析し、問題を見出し、その解決に向けて活動し、他者に働きかけをすることのできる人材の育成を目指します。地域と政策に関する科目が配置され、重点的に学びます。



4 棟 模擬法廷教室

教職・司書教諭・司書課程

問い合わせ先 教務課免許課程係(東棟1階)

中学・高等学校の教員・司書教諭、図書館司書を志望する学生のために教職課程、司書教諭課程、司書課程が開設されています。現在、多くの本学出身の教員が全国の中学校・高等学校で活躍しています。

2022年度卒業生の教育職員免許状取得状況は、中学校1種62名、高等学校1種90名、中学校専修1名、高等学校専修1名(以上延べ人数)となっています。

教育職員免許状取得にとどまらず、教員採用試験の合格をめざした取り組みをしており、2022年度卒業生の公立学校教員採用試験合格者数は17名でした(2024年3月現在)。

教師という仕事は専門性と社会的な責務の重要性から、資質と識見が厳しく問われるため、教師になるという強い意志と努力が求められます。

教育実習を行うにあたっては、3学年(5・6学期)修了時まで指定された教育実習要件科目の単位を修得しなければなりません。

更に、教育実習教科を「英語」とする英語学科と交流文化学科、国際教養学部の学生は、3学年(5・6学期)までに次の資格のいずれかを満たさないと、4学年(7・8学期)で教育実習を行うことができません。

TOEIC® LISTENING AND READING TEST

……………700点以上

TOEFL® TEST

……………68点以上(iBT)

……………520点以上(学内実施のITP可)

英検……………準1級以上

2022年度卒業生は、司書教諭資格9名、司書資格を21名が取得しています。司書資格での採用は、国家・地方公務員試験や私立大学等の採用試験に合格しなければならず、狭き門となっています。

教職・司書相談室(中央棟1階)

免許及び資格課程に関するさまざまな相談に、教職課程担当教員が応じています。

また、相談室には教職・司書に関する各種資料や教科書・参考書等が取り揃えてあり、開室時間内は自由に閲覧できます。また本学図書館には、近隣の学校で使用されている教科書が揃っています。



教員採用試験受験講座について

キャリアセンターでは、教員採用試験現役合格を目指して教職教養を中心とした対策講座を実施しています。

Webによるオンデマンド方式の講座のため、各自のスケジュール、ペースで進めることができ、反復して学習することが可能です。

本学で取得できる教育職員免許状の種類と資格

教育職員免許状の種類	基礎資格
中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	学士の学位を有すること
中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	イ) 修士の学位を有すること ロ) 略

学科別教育職員免許状の取得できる教科

学科	種類	教科
ドイツ語	中1・高1	ドイツ語
英語	中1・高1	英語
フランス語	中1・高1	フランス語
交流文化言語文化(国際教養学部)	中1 高1	英語 英語・社会 英語・地理歴史・公民
経済	中1 高1	社会 地理歴史・公民
経営	中1 高1	社会 公民・情報
国際環境経済	中1 高1	社会 公民
法律	中1 高1	社会 地理歴史・公民

(注) 中1：中学校教諭一種免許状
高1：高等学校教諭一種免許状

大学院の概要

本大学院には、各学部・学科を基礎として下表のような研究科・専攻があります。外国語学研究科博士前期課程英語学専攻には現職教員および将来教員を目指す社会人等のための、修業年限1年で学位の取得が可能な1年コースを設置しています。

研究科	課程	専攻・コース	修業年限	入学定員	収容定員
法学	博士前期	法律学専攻	2	5	10
	博士後期		3	3	9
外国語学	博士前期	ドイツ語学専攻	2	2	4
		英語学専攻	2	6	12
		英語学専攻 (英語教育専修コース)	1		
		フランス語学専攻	2	2	4
	博士後期	ドイツ語学専攻	3	1	3
		英語学専攻	3	2	6
		フランス語学専攻	3	1	3
経済学	博士前期	経済・経営情報専攻 (経済・経営コース)	2	2	4
		経済・経営情報専攻 (情報コース)	2	1	2
	博士後期	経済・経営情報専攻	3	1	3

大学院の入試

*学内推薦入試

9月および2月実施の一般入試・社会人入試の他に、博士前期課程において本学学部生を対象とした【学内推薦入試】を実施しています。合否は書類選考および口述試験による総合判定となります。

入試の詳細については、大学院事務室事務課にお問い合わせください。

*大学院説明会

毎年、7月と11月に本学大学院進学を希望する学生に対し、大学院担当教員からの説明、在学生からのアドバイスなどを実施しています。

教育職員免許状(専修免許状)取得について

大学院において取得できる教育職員免許には、中学校教諭専修免許・高等学校教諭専修免許があります。これは、1種免許を持っていることを前提としています。

大学院の施設

専攻別に大学院学生共同研究室があり、大学院生は、個人専用の机が用意されています。また、研究関連図書および雑誌なども配備されています。大学院学生共同研究室は、原則として、午前8時から午後9時まで利用可能ですが、事前届出によって時間延長も可能です。また、学位論文、文献資料等をコピーやスキャンをするための大学院生専用複写室があります。

博士前期課程修了生の進路

博士前期課程修了後、民間企業への就職や、研究継続のため研究生や博士後期課程進学をする者のほか、法学研究科では、税理士事務所・法律事務所、外国語学研究科では、大学・高校・中学の教員、経済学研究科では、会計事務所や税理士事務所などに就職し活躍をしています。



学習環境

語学学習環境

ICZ

天野貞祐記念館3階・4階中央にあるICZ (International Communication Zone) は、在学生・留学生が授業時間外でも外国語や外国文化に触れることができ、学部・学科・学年を越え、日本人学生も留学生も外国人学生も気楽に交流できる場です。

各言語のチャットルーム

チャットルームとは、授業とは異なり、気楽に各言語（ドイツ語・英語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語）のネイティブスピーカーと会話を楽しめるように設けた時間です。

定員は12名と少人数制となっています。各回とも、1週間前から先着順で受け付けていますので、在学生は自分の都合に合わせて利用することができます。参加費は無料です。

クリスマスパーティーなどのイベントも実施しています。

また英語はマンツーマンのオンライン英会話も実施しています。

インターネットラジオや各種DVDの視聴

ICZではインターネットラジオや各種DVD（ドラマ、映画など）を視聴することができます。

3つの言語ルームと

多言語多文化コミュニケーションゾーン

ICZ 3階はドイツ語・英語・フランス語の3つの言語ルームと共通ロビーで構成されています。

4階は多言語多文化コミュニケーションゾーンです。

ドイツ語の部屋 Deutsche Ecke

- ◆インターネットラジオによるドイツ語の放送が常時流れています。
- ◆ドイツ語の雑誌、新聞が読めます。時間の経ったものは、順次、在学生に差し上げています。

- ◆ドイツ語の学習方法や文法、授業でわからなかったところや宿題をやってみてわからないところなど、大学院生やピアサポーターが相談にのっています。

英語の部屋 WE ARE

(World Englishes Action Resource Environment)
楽しみながら英語や異文化に触れられるようになっています。

- ◆多読用のレベル別 Reader や、日本のコミックの英語版 (*Your name*.『君の名は。』など)、海外のファッション誌、スポーツ誌、料理本や編み物の本、伝統文化や今の日本を伝えるバイリンガル雑誌 *Hir@gana Times* など自分のレベルや興味に応じたアプローチで英語に触れることができます。
- ◆英語学習についての相談コーナーでは質問用紙で投稿するとスタッフや教員が回答します。TOEIC® テストのスコアアップについてや、苦手な文法を克服するには、などの相談が寄せられています。

フランス語の部屋 Espace francophone

- ◆インターネットラジオによるフランス語の放送が常時流れています。
- ◆パリの日本語新聞 "OVNI" や "1 jour 1 actu" などのフリーペーパー、パンフレットや洋（海外）雑誌などを置いています。視聴覚資料も多数揃えています。

多言語多文化 コミュニケーションゾーン

ここでは単一言語だけではなく、多言語によるコミュニケーションを図ることを目的としているため言語を限定していません。それぞれの言語を学ぶ、あるいは関心のある学生が自由に入り出して交互に交流することを目的としています。また、各言語に関連した資料の閲覧や勉強会などの活動にも利用することができます。

CAL教室 (Computer Assisted Learning 教室)

CAL 教室は主にリスニングや発音のスキルをトレーニングするため主として外国語の授業で使用しています。40人教室が7室あります。音声や動画の教材を各自のパソコンに配信することにより、学生は自分のペースで学習することができます。教員と学生の双方向の授業が行われています。

本施設、資料のご利用、および催し物の参加は本学学生・本学教職員に限らせていただいております。保証人および学外の方のご利用はできませんことをご了承ください。

グローバルフロンティア

天野貞祐記念館2階～4階にあるICZ、国際交流センター、日本語教育オフィスをグローバルフロンティアと称し、連携して学内の国際化を推進しています。



アンバサダー、ピアサポーター

グローバルフロンティアで活躍する学生スタッフです。アンバサダーは広報やイベントの企画などを担っており、ピアサポーターは同じ学生の目線から外国語学習や外国文化について相談に乗っています。

随時情報発信中！

以下のSNSにて、ピアサポーターについての紹介や、短期留学の様子などについて随時情報を発信しています。



Instagram :
dokkyo_global



X (旧Twitter) :
dokkyoglobal



YouTube :
DokkyoGlobal

英語学習サポートルーム (中央棟1階)

英語学習に関する個人アドバイスが受けられる相談スペースとして「英語学習サポートルーム」を開設しています。

これは、本学全学共通カリキュラム外国語科目群英語部門(全カリ英語)の英語教育の取組「学士力育成に資するEGAP英語教育の充実」が平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム(大学における教員の質の保証の取組の高度化)」に採択されたことから実現したものです。

このサポートルーム内には英語学習相談のためのブースが設置されています。全カリ英語のカリキュラムや英語学習方法を熟知したアドバイザーが学生との面談を通じて、入学から卒業まで、学生一人一人が自分の目標や生活・学習スタイルに合わせ、英語学習を計画・実践するためのサポートをします。利用は無料で卒業まで何度でも利用できます。

「スムーズに話せるようになりたい」「就職活動までに次のTOEIC® LISTENING AND READING TESTで100点アップさせたい」など、各学生の英語学習に関する悩みや質問を、アドバイザーと一緒に考え、アドバイスを行います。また、英語の勉強はしたいけれど、自分一人で日常的に英語学習を続けるのは難しいと感じている学生の英語自主学習の伴走者として、アドバイザーはペース作りのお手伝いもします。

英語の基礎から見直したい学生も、さらに高いレベルを目指したい学生も、卒業まで積極的に英語学習サポートルームを活用し、英語力アップに役立てていただけるよう願っています。

■対象学部・学科、学年：ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部の1～4年生

外国語各種講座・補助制度

問い合わせ先 教育研究支援課 外国語教育支援係
(天野貞祐記念館3階)

外国語講座

ドイツ語

オープンスクール ドイツ語講座

(在学生以外の申込みも可能です)

ドイツの公的な国際文化機関である「ゲーテ・インスティトゥート」と提携し、春と秋、ドイツ語講座を開講します。レベル別の検定試験準備コースがあります(春期、秋期ともにA2、B1レベルで開講予定)。在学生のみ受講料の補助があります。

ゲーテ・インスティトゥート

ドイツ語検定試験検定受験料補助

A1～C2の試験について、在学生在が大学を通じて受験を申し込むと、検定料が最大6,000円割引されます。

英語

IELTS™ 対策講座

語学学校の「パークレーハウス」と提携し、留学等に必要のIELTSスコア6.0取得を目指す講座を開講します。

IELTS™ 学内特別会場試験

世界140カ国、10,000以上の教育機関で英語力の証明として、留学等にもスコアを使用できるIELTS™試験を学内で実施します。

英語能力試験で一定のスコアを満たしている在学生在は、受験料の補助があります。

TOEFL ITP® テスト学内実施

世界中の教育機関でスコアが利用されているTOEFL ITP®テストを学内で実施します。受験料はTOEFL iBT®テストの約6～7分の1程度です。

ご自身の今の英語力の測定だけではなく、TOEFL iBT®テスト受験に向けた練習としても活用できるテストです。

TOEIC® L&R TEST 夏期集中対策講座

(リスニング、リーディング)

リスニングとリーディングそれぞれの技能について、集中講義を行います。

TOEIC® L&R テスト対策講演会

TOEIC®L&Rテスト対策のエキスパートによる講演会を開催します。

TOEIC® LISTENNING AND READING

公開テスト受験料割引

在学生在が大学を通じて申し込みを行った場合、正規の受験料7,810円が6,800円に割引になります。

フランス語

フランス語講座サポートプログラム

伝統と実績ある語学学校「アテネ・フランセ」と提携し、アテネ・フランセ本校で実施されるフランス語講座を受講する学生に対して、最大10,000円の受講料補助を行います。

TCF リスニング対策講座 (2023年度実績)

フランス語学科2年生は受験必須となるフランス語検定試験TCFのリスニングの模擬試験および問題解説講座を開講しました。

仏検2次面接ワークショップ

準2級、2級、準1級のうち希望する級の模擬面接を個別に行い、その後、先生から面接のポイントや練習方法などのアドバイスがもらえるイベントです。

スペイン語

DELE 口述対策講座

DELEスペイン語検定は、日本で唯一のスペイン語公認資格で、世界20か国以上で使われるスペイン語能力の証明になり、留学の際の選考や、就職活動にも役立ちます。この講座ではDELEスペイン語検定のうち、主に口述試験のポイントの解説や練習を重点的に行います。

※TOEIC および TOEFL は ETS の登録商標です。
この印刷物は ETS の検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

※ 講座等の内容は変更になる場合があります。

その他の課外講座

本学では、資格取得を目指す学生のために、語学講座以外にも、課外講座を多数開講し、そのバックアップをはかっています。

エクステンションセンター

キャリア・ディベロップメント講座（公務員試験、各種検定試験対策）

キャリアセンター

各種キャリア・就職支援講座

経済学部

公認会計士養成講座・気象予報士試験講座

法学部

法律の仕事と資格を目指すー法律職対策講座ー

多彩な国際交流イベント

キャンパス内の多彩な国際交流

学内での交流やイベントを通じて学生の視野を広げ、世界を意識する機会を提供しています。イベントは獨協大学公式 SNS グローバルフロンティア（詳細は P21）で紹介しています。2023 年度実施したものを紹介します。

海外協定校の留学生、訪日学生団体との交流

学生同士がプレゼンテーションやグループディスカッション、また昼休み時間に開催する交流会のトークや日本文化体験イベントなどを通じ、自身が学んでいる外国語で交流する楽しさを実感しました。

留学成果報告会（年 2 回）

長期留学を終えた学生が留学の成果を自身の能力の伸長、課題として残ったことや今後の学修計画を現地の様子とともに発表します。これから留学を考える学生は留学経験者の発表を聞くことで、留学に必要な準備についての情報を得たり、留学へのモチベーション・目的意識を高めたりする場にもなりました。

外国人留学生サポートスタッフ

在学生在が留学生と 1 対 1 で、留学生の日本での生活をサポートします。来日前から連絡を取り合い、来日後に市役所での手続や銀行口座の開設などを一緒に行うことで、より実践的な外国語を使いながら、学生間の交流を深めています。

留学フェア

在學生に対し、大使館などが各国の特徴や生活についてのセミナーを実施します。2023 年度はドイツ学術交流協会、Campus France、カナダ大使館やワーキングホリデー協会などが参加セミナーを実施しました。また、海外留学体験者や国際交流センター職員との個別相談ができました。本学の留学制度と海外体験の可能性について考える機会となりました。

留学・海外体験へのサポート

留学・海外体験など制度や形態に関わらず、それらをより充実したものとするためには、語学力を向上させるとともに、渡航先の文化や生活への知識を持ち、費用の工面等、しっかりした準備が必要となります。そのため、国際交流センターでは、さまざまな面から学生の留学・海外体験の実現をサポートしています。

留学に関する支援や情報提供を継続的に国際交流センターで行っておりますので、スタッフにご相談ください。

※ 留学制度については P26-27 をご確認ください。

国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」

獨協大学と草加市国際交流協会との共催で国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」を本学キャンパスで毎年開催しています。日本を含めた、世界各国の伝統や文化を体験するフェスティバルです。各国料理グルメ屋台や、音楽やダンスパフォーマンス、民芸品販売などがあります。2023 年度は、本学は多数の学生団体やゼミによる研究発表、学生や留学生と来場者（草加市民）が会話することができるワールドランゲージ・コーナーやフェアトレードカフェなどが参加しました。



在学生在利用できる ICT 環境

1. 教育研究系システム・インターネットの利用

在学生には大学の教育研究系システムを利用するためのログイン ID が配付され、在学中使用することができます。この ID で Wi-Fi (学内無線 LAN) が利用できるほか、Web メール、LMS (Learning Management System) の manaba (マナバ)、MyDOC (マイドック) 等の各種授業支援システムを利用することができます。

2. ポータルサイト「PorTa II (ポルタ・ツー)」

PorTa II では、春学期・秋学期初めの履修登録を行うことができます。また、授業の休講情報や補講情報、教室変更情報、成績情報、シラバスなどを参照することができます。このほか、学期末に実施される授業評価アンケートやキャリア支援情報、留学支援情報の確認・入力も行うことができます。PorTa II のログイン ID も在学生に配付されます。

3. Web メール

在学中は大学の Web メールを使用できます。授業をはじめ、大学からの様々なお知らせが配信されます。また、各自が設定することにより、別のメールアドレスへ転送することも可能です。

4. その他の授業支援システム

履修科目により、manaba (マナバ)、MyDOC (マイドック)、ALC NetAcademy NEXT (アルクネットアカデミーネクスト) といった授業支援システムを利用します。詳細は授業時に教員から指示があります。

5. 認証プリンタ

在学生は、学内に設置されている認証プリンタから印刷することができます。同一年度内 1,000 ポイントまで使えます。(モノクロ 1 枚 1 ポイント、カラー 1 枚 5 ポイント)。1,000 ポイントを超えると有料となります (1 ポイント 10 円)。

設置場所は、天野貞祐記念館の図書館と ICZ、東棟 4 階コンピュータ教室、西棟 3 階ラーニング・スクエア 1、中央棟 1 階の CLEAS です (カラー印刷は CLEAS のみ可)。

6. 大学 Wi-Fi の利用

在学中は構内各所に設置された大学の Wi-Fi へ、持ち込みパソコンやスマートフォン等を接続して

利用できます。接続方法は、PorTa II のダウンロードセンター>学生用フォルダ>コンピュータ・Wi-Fi など>無線 LAN 接続の利用方法から確認いただけるほか、構内の掲示板等への掲示でもお知らせしています。

7. Microsoft 365 の利用

在学生は、Microsoft Office (Word、Excel、PowerPoint 等) を無償利用できます。

詳しくは大学 HP > 「教育・研究」 > 「教育研究支援センター」 > 「Microsoft 365 の提供について」をご覧ください。

8. 窓口時間

ICT 環境に関する相談窓口「東棟 4 階ヘルプデスク」の窓口時間は次のとおりです。

(授業期間中)

月～金…8:45～19:15 / 土…8:45～12:50

授業期間外 (長期休業期間など) やイベント等により、窓口時間が変わる場合があります。詳細は大学 HP > 「教育・研究」 > 「教育研究支援センター」 > 「開室カレンダー」でご確認ください。

9. CLEAS (クリアス)

中央棟 1 階の自律学習スペース「CLEAS (クリアス)」には、クリエイターパソコンを備えた MM 工場のコーナーがあり、専用ソフトウェアを利用したポスターや冊子等の製作、動画編集等を行うことができます。常駐サポートスタッフによる PC の基本操作等の講習会やマニュアル冊子類も備えており、初めての学生でも気軽に利用できます。

10. 学生の学内 ICT 機器利用について

学内にはコンピュータ教室や図書館等に学生が利用できるパソコンが設置されています。また、プロジェクタ等の機器貸出も行っています。利用できる機器やサポート窓口の詳細等は、大学 HP > 「教育・研究」 > 「教育研究支援センター」からご確認ください。

なお、大学設置のパソコンは数に限りがあります。授業や自習等でパソコンを使用する場合は、モバイルノートパソコン等を充電して持参いただくようお願いいたします。

図書館

図書館では大学の授業・学修に必要な資料の提供だけでなく、社会人に求められる教養やスキルを獲得できるよう、学生をバックアップします。

開館時間

月～金曜日 8:30～21:00

土曜日 8:30～18:00

- * 夏季休業期間と2～3月は開館時間が変更(短縮)になります。
- * 定期試験期間等は日曜・祝日も開館します。
- * 開館時間は変更になる可能性があります。詳細は、ホームページ、図書館カレンダー、掲示等をご覧ください。

所蔵資料

図書…………… 約 102 万冊

(和書約 68 万冊、洋書約 34 万冊)

継続雑誌… 約 2,300 タイトル

その他…… CD、DVD、マイクロ資料などを所蔵しているほか、様々なデータベース及び電子ジャーナルが利用できます。

多種多様な閲覧席

利用形態にあわせて多種多様な閲覧席を設け、図書や雑誌、インターネット情報を包括的に活かせる環境を整えています。

静粛ゾーン	静粛席	静かに学習をする時に使う席です。仕切りのある席、仕切りのない席、窓に面した席があります。
	キャレルコーナー	仕切りのある個人机(キャレル)を配置しています。1人で集中して学習できます。
機器利用ゾーン	研究個室	一人で集中して研究・学習したい時に最適です。研究個室はPCが持ち込めます。
	PC設置席 機器利用可能席	設置されたPCのほか、持ち込んだPCや電卓などの機器が利用できます(無線LANも利用可能)。
	グループ利用席 共同学習室	PCやAV機器を使いながら、グループで共同して研究・学習できます。
	AVコーナー	図書館所蔵のAV資料が視聴できます。
	発話トレーニング ブース	発音・発話の練習ができ、外国語学習に役立ちます。

様々なサポート体制

◆レポート・論文の書き方講座

レポート・論文作成の手順や必要な資料の入手方法について、動画配信や上映会、外部講師を招き実習を交えたガイダンスを実施しています。

◆データベース利用ガイダンス

図書館で契約しているデータベースの効果的な使い方・就職活動への活かし方がわかる動画配信に加え、ガイダンスを年に数回実施しています。

◆就職活動関連資料コーナー

就職活動の心得や、各業種・職種を研究した資料、仕事や働くことについて考える内容の本を中心に並べています。

◆PCサポートデスク

(教育研究支援センター)

パソコンやプリンタのトラブルの対応や操作の相談を受け付けています。

◆レファレンスカウンター

資料の探し方、データベースの使い方、レポート・論文の書き方などの相談ができます。

◆図書館セミナー

教員からの依頼により、授業中に図書館概要、資料検索、情報検索等のセミナーを行っています。

◎ 獨協大学父母の会会員およびその配偶者の方は図書館がご利用になれます。貸出は10冊まで、14日間です(一部、利用できない施設や資料があります)。

ご利用に際しては申請手続きが必要です。(免許証・健康保険証等、本人確認できるものをご持参ください。) 事前に図書館ホームページをご確認のうえ、ご来館ください。

本学の留学制度

本学の留学制度には、1～2学期間留学する長期留学と、夏季・春季休業期間を利用した短期留学があります。また、留学先が獨協大学と学術交流協定を締結している海外の大学（以下「協定校※1」）への「交換留学」と、学生自身が希望する留学先大学（機関）に手続きして留学する「認定留学」があります。

留学先大学や条件、費用など詳細は「留学ガイド2024」をご確認ください。（獨協大学ホームページトップ>国際交流>留学制度>留学ガイド）

長期留学

制度と概要	期間	授業料※2と奨学金	単位認定※4
交換留学 学術交流協定に基づき、本学在学中の成績、修得単位数、語学力の基準を満たし、選考試験に合格した学生を海外協定校へ派遣します。	1学期間 又は 2学期間	授業料：(1)又は(2) (協定校との協定による) 奨学金等※3：①②③該当	最大 32単位
認定留学 大学間の協定によらず、個人で留学先大学を選択し、入学許可を得た上で、本学の承認手続きを経て留学します。		授業料：(1) 奨学金：認定留学奨学金 (2023年度支給額 月額2万円) ※応募条件あり	

短期留学

制度と概要	期間	単位認定※4
短期協定校留学 （本学教職員の同行あり） 本学が企画し、旅行会社が旅行業務法上の受注型企画旅行として、協定校で実施する研修です。	夏季・春季休業期間に2週間から1か月程度	一研修につき2～4単位 認定できるのは最大8単位まで ※本学8学期生が参加した場合は、単位認定対象外
短期認定留学 （本学教職員の同行なし） 旅行会社が募集型企画として実施する外国語研修プログラムのうち、授業内容、授業時間数、研修時期などが本学基準を満たすプログラムを、短期認定留学として実施します。		

※1 獨協大学との「協定校」は27ページを確認してください。

※2 留学中の「授業料」の支払方法は以下の(1)と(2)の2種類があります。

- (1) 本学の授業料は全額免除され、留学先に授業料を全額納入
- (2) 本学に授業料を全額納入し、留学先での授業料は全額免除

※3 長期交換留学の「奨学金等」は次の①②③が該当します。

- ① 交換留学生奨学金（2023年度支給額 月額2万円）
- ② 交換留学生研修費補助（2023年度実績 本人が支払った実費10万円までを支給）
- ③ 交換留学終了後の語学試験受験料全額補助

※4 「単位認定」は、留学先大学で科目を履修しその単位を修得した場合、本学の卒業に必要な単位として認定が可能です。

コロナ禍における留学への影響と対応について

学生の留学は2020年からコロナ禍の影響を受けてきましたが、2023年度からは、ほぼ従来と変わらない留学環境に戻っています。また、短期留学（外国語研修）では、2022年度夏季から協定校が提供するオンラインプログラムを短期協定校オンラインプログラム（単位認定あり）として導入しました。

外国人留学生（協定校からの）受入れについては、2022年度春学期から再開し、2023年度には70名が在籍しました。

留学に関する支援や情報提供は国際交流センターで行っていますので、スタッフにご相談ください。

* 交換留学及び認定留学の実施は「海外危機管理マニュアル」ガイドラインにより、プログラム開始の概ね45日前時点で外務省危険レベル及び感染症危険レベルが1以下でない場合に、派遣を中止しています。

留学情報案内 (2024 年度実施予定)

留学を実現させるためには、希望する学生自身が自らのキャリアデザインを考慮し、本学や留学先国が発信する情報を活用しながら、具体的に計画を立てる必要があります。本学はポータルサイト PorTa II などで、留学に関する情報を随時お知らせしています。

交換留学 (2024 年度説明会開催予定)

派遣時期 2025 年度春派遣・2025 年度秋派遣の交換留学についての説明会日程

- ドイツ語圏…………… 5月 / 7月 / 11月 / 1月
- 英語圏…………… 6月 / 10月 / 1月
- フランス…………… 5月 / 1月
- スペイン語圏…………… 5月 / 10月
- 中国語圏…………… 5月 / 10月
- 韓国…………… 5月 / 7月 / 1月

短期協定校留学 (2024 年度予定)

夏季語学研修

- ・ハレ=ヴィッテンベルク大学 (ドイツ)
- ・ウィスコンシン大学
スティーブンス・ポイント校 (アメリカ)
- ・レジャイナ大学 (カナダ)
- ・フランシュ・コンテ大学 (フランス)
- ・東呉大学 (台湾)
- ・慶熙 (キョンヒ) 大学 (韓国)

春季語学研修

- ・ヨーク大学 (カナダ)
- ・ウーロンゴン大学 (オーストラリア)
- ・マラガ大学 (スペイン)

短期認定留学 (2024 年度予定)

6 か国 13 プログラム

学生派遣 (長期・短期) 協定校 (2024年4月1日現在)



キャリア・就職支援

問い合わせ先 キャリアセンター(天野貞祐記念館1階東側)

学生生活で大切なこと

現在を取り巻く厳しい経済環境のもとで、多くの企業の関心ごとは、自分たちが生き残るために、少数精鋭の核となる人材をどのように確保するかにあるようです。このため採用試験では、その人の持つ“力”とその力を仕事で発揮できるかを見抜こうとしています。

経済活動のグローバル化が進行している今日、社会人一人ひとりに求められる力は多岐にわたり、その本領を発揮することが期待されています。大学は、社会が求める知識・スキル・経験・人間性等々を培うことができる場です。学問や課外活動などに打ち込むことから、将来のキャリアデザインが見えてきます。

本学キャリアセンターでは、進路や就職活動のためのガイダンスや講座を年間約350コマ開設し、多様な学生のニーズに対応できるよう支援体制を整えています。

将来の進路を考えると、大切なことは、自分自身をよく理解し、自分を活かせる業種や職種を探すことです。そして、将来の職場でどのような姿勢で働きたいかを自分の言葉で相手に伝えるコミュニケーション力は、必須の条件といえるでしょう。

最近では多くの企業が、主体的な問題発見・解決型の人材を求めています。面接時の質問として、

「あなたが大学生活で一番打ち込んできたことは何ですか?」「そこで大変だったことは?」「それをどう克服してきましたか?」「またそれを将来どう活かしたいですか?」などがあります。このような傾向は、民間企業に限らず官公庁などでも見られるようになりました。

では、どうすれば課題発見・解決型の人間になれるのでしょうか。答えは人によって違ってきますが、ただ漠然と学生生活を送るのではなく、何かに本気で打ち込むことです。「自分を本当に理解するには、何かに本気で打ち込んでみる」こと、これは人事担当者の共通認識となっているようです。就職についての不安はあるでしょうが、まずは充実した学生生活を心がけてください。

キャリアセンターでは、「学生の“自律”、“自己理解”と“五感”を大切にしながら共に目標を目指し、自身と母校への誇りを持ち、卒業後に社会で活躍できるよう支援をする」ことを基本と考えています。本学のキャリアアドバイザーは、何事もまず自分で考え、自らの意思で行動し、多く人と係わることの大切さを説いています。これができる人は、自分についての気づきも早く、社会への関心も高いため、企業にとって魅力的な学生と映るようです。充実した学生生活を送り、実りある就職活動へつなげられるよう、キャリアセンターは学生の皆さんを応援しています。

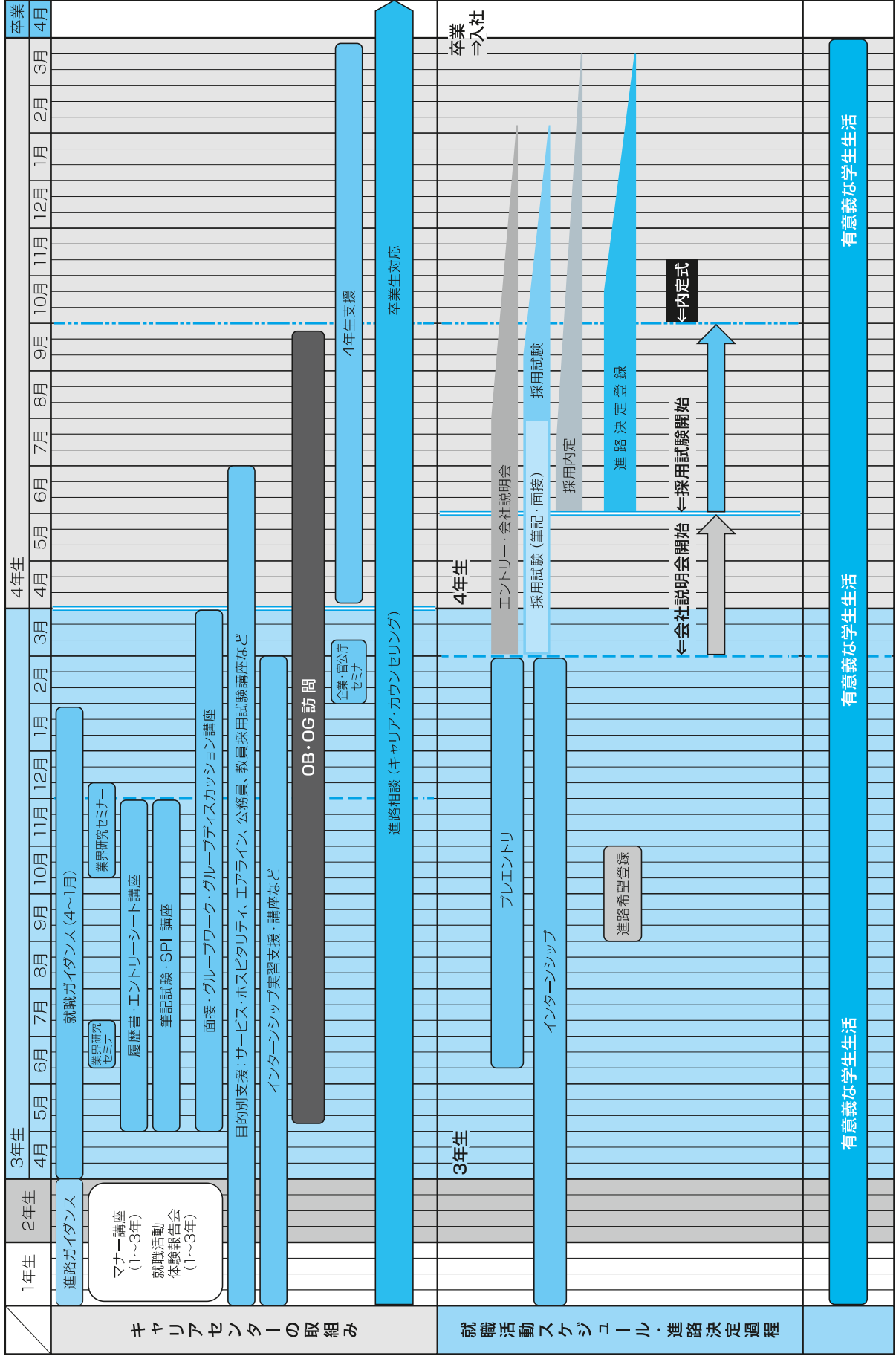
2023年度は引き続き、対面、オンラインでの相談に加え、学生のニーズに応じて、必要なイベントをタイムリーに開催しました。具体的には、①対面・Web・電話による個別相談、②本学ポータルサイトであるPorTa IIを活用した情報提供(求人情報、地方自治体からのUIターン情報、就職活動体験記等)、③ガイダンスの動画による配信、④対面、ライブ配信、オンデマンド配信による講座、ガイダンスの開講、⑤同窓会主催の獨協就活 Meetup(オンラインOB・OG訪問)⑥図書館との連携によるオンライン情報提供(企業情報データベース、就活に関連する電子書籍)など学生に対する就職支援サービスを更に充実させました。また、学内で集中してWeb面接を受けられるよう、Web面接専用の個室ブースを設置しました。加えて2020年度から導入した「LINE」も引き続き活用し、学生への情報発信を強化しました。



Web面接専用の個室ブース

進路・就職決定の流れ

(2022年度)



さまざまなキャリア・就職支援

全学総合科目（授業）1年生～

全学共通カリキュラムの科目では、自分はどうのように学べば社会でどう活かすことができるか、の示唆を得られる科目を開設しています。

〔科目〕：「キャンパスライフと仕事」、「現代社会2（インターンシップ）」「社会を生き抜くセルフブランディングⅠ・Ⅱ」、「経営者が語る現代企業論1、2」、「教えるという仕事」、「NPO論」、「働くための基礎知識」、「メディアと私たち」等

インターンシップ 1年生～

学生時代にアルバイト以外の就業体験をすることは、企業や仕事について理解を深め、社会人としての姿勢を学ぶ上で貴重な経験となります。

学内応募でインターンシップに参加する方法や、自己開拓で参加する方法があります。実習参加により、その後の学生生活や進路選択の幅を広げるのに役立っています。

各種支援講座 1～4年生

就職活動に自信をもって力強く臨めるように、就職活動の基本に沿った講座を約50講座約300コマ開設しています。座学だけでなく、参加型・実践的な講座が多く、学生も積極的に参加しています。

採用試験対策のみならず、本来の自分を見つけられるようキャリア教育講座にも力を入れており、就職後にも発揮できる自分の力を見い出すことを目指しています。

就職ガイダンス 3年生

3年生が対象です。例年、4月以降全11回にわたり実施しています。進路（就職）を決定するまで、どのように活動すればよいか、就職活動に臨む姿勢、業界研究、エントリーシート・履歴書の書き方、面接など就職活動の基本について説明します。

業界研究セミナー 3年生を中心に全学年

2023年度は、各業界を代表する企業・団体（約30社・団体）が対面（一部オンライン）で参加しました。各業界を取り巻く環境や具体的な仕事内容、求める人物像について説明を受けることができます。

3年生の場合は、この講座を通じて夏のインターンシップの選択に利用したり、業種や業界の知識を深め企業選びの視野を広げます。

企業・官公庁セミナー 3年生

2023年度は、約250の企業・官公庁の採用担当者が対面（一部オンライン）で参加しました。この説明会は多くの優良企業に出会える絶好の機会です。

4月以降は4年生を対象とした企画を予定しています。

OB・OG イベント 3年生を中心に全学年

各業界で働く先輩方をお招きし、OB・OG訪問会を開催しました。温かくかつ率直なアドバイスが気づきにつながります。また、仕事や会社、就職活動の経験などについて、何でも気軽に話を聞いたり相談ができる機会です。

進路・就職相談 1～4年生および既卒生

キャリアアドバイザーとキャリアセンター職員がWeb、対面にて相談を受け付けています。

進路選択や就職活動全般に係わるあらゆる相談に応じています。

発行冊子

『インターンシップ報告書』

情報発信

PorTaⅡを通じて、「就職活動体験記」「データ集」やガイダンス資料、求人情報など、常に最新の情報を発信しています。



学生生活

ハラスメント防止

ハラスメントとは？

相手側の意に反する不適切で社会通念上相当な範囲を超えた発言その他の行為を行うことによって、相手の学修、教育、研究若しくは就業環境を害し、又は相手に身体的、精神的な苦痛を与える行為のことです。

パワーハラスメント

優越的な関係を背景とした言動であって、学修、教育、研究又は業務を行ううえで必要かつ相当な範囲を超えたものにより、相手の学修、教育、研究又は就業環境が害されるものをいいます。

代表的な類型は以下の通りです。

- ①身体的な攻撃（暴行、傷害）
- ②精神的な攻撃（脅迫、名誉棄損、侮辱、ひどい暴言）
- ③人間関係からの切り離し（隔離、仲間外し、無視）
- ④過大な要求（明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制又は妨害）
- ⑤過少な要求（合理性なく能力や経験とかけ離れた程度の低い業務等を命じることや業務等を与えないこと）
- ⑥個の侵害（私的なことに過度に立ち入ること）

アカデミックハラスメント

広義ではパワーハラスメントの中に入りますが、優越的な関係を背景とした言動であって、学修、教育又は研究を行ううえで必要かつ相当な範囲を超えたものにより、相手の学修、教育又は研究環境が害されるものをいいます。

セクシュアルハラスメント

○対価型セクシュアルハラスメント

学修、教育、研究又は業務中に行われる性的な言動に対する相手の対応により相手が不利益を受けるものをいいます。

○環境型セクシュアルハラスメント

性的な言動により相手の学修、教育、研究又は就業環境が害されるものをいいます。

セクシュアルハラスメントには、同性に対するものも含まれます。被害を受けた者の性的指向又は性自認にかかわらずセクシャルハラスメントも対象となります。

マタニティーハラスメント

妊娠又は出産に関する制度又は措置の利用に関する言動や、妊娠したこと、出産したことその他の妊娠又は出産に関する言動により教育、研究又は就業環境が害されるものをいいます。

育児休業等にかかわるハラスメント

育児休業、介護休業、その他の育児休業、介護休業等の制度又は措置の利用に関する言動により教育、研究又は就業環境が害されるものをいいます。

その他のハラスメント

先の5つの類型に該当していなくても、個人の性別、性的指向、性自認、社会的身分、人種、国籍、信条、年齢、職業、病歴、障がい、身体的特徴その他あらゆる属性、尊厳又は人格に関わる言動で、かつ相手側の意に反する不適切で社会通念上相当な範囲を超えた発言その他の行為はハラスメントに該当します。

ハラスメント対策委員会

本学のハラスメント対策委員会は、次の事項を行います。

- (1) ハラスメントの防止に関する研修
- (2) ハラスメントの防止に関する啓発
- (3) 申立てに対する解決に向けた取り組み
- (4) その他ハラスメントの防止に必要な事項

また、ハラスメントについての救済の申立てがあった場合は、次の事項を扱います。

- (1) 諸規程違反の確認
- (2) 独立したハラスメント案件に関わる調査分科会の設置の可否及び当該事実関係の調査の依頼
- (3) ハラスメントについての事実の認定
- (4) 申立者と被申立者との調停案の作成
- (5) 申立者に対する救済案の作成
- (6) 被申立者に対する改善指導案の作成
- (7) 被申立者に対する処分案の作成
- (8) 再発防止策案の作成
- (9) 学長への報告書の作成及び提出

ハラスメント外部相談窓口

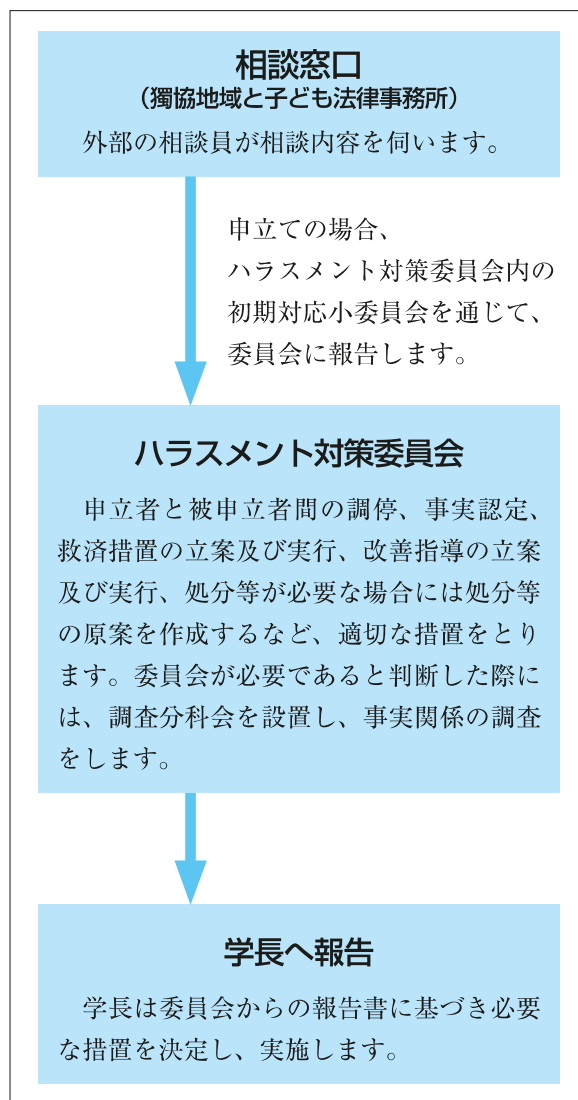
本学は、ハラスメントについての相談に応じるため、大学外に以下のハラスメント専用の相談窓口を設けます。

—— 獨協地域と子ども法律事務所 ——

住 所 埼玉県草加市松原1-1-10
電 話 080-5431-0970 (受付)
受付時間 月～金 9:30～15:30

ハラスメントにあった場合の 解決までの流れ

相談から解決までのフローの概略です。



<秘密の厳守>

当該事案に関わるすべての担当者は、相談内容等において、個人のプライバシーを厳守します。

・獨協大学人権宣言



・獨協大学
ハラスメントの防止に
関する行動規範



(本学 HP に掲載しております。)

障がいのある学生支援

問い合わせ先 学生支援室(天野貞祐記念館1階東側)

開室時間

月～金曜日 9:00～17:00

TEL 048-954-7020

e-mail : shien@stf.dokkyo.ac.jp

大学生生活を送るうえで心配なことがありましたら、学生支援室にご相談ください。

詳しくは、下のQRコードから本学ホームページ「障がいのある学生支援」のサイトをご覧ください。

※ 読み取れない場合は

障がいのある学生支援
で検索



問い合わせは、上記サイトの「在学生用お問い合わせフォーム」から送信してください。

支援の流れ

事前相談

受付後、学生支援室から学生本人に事前相談の日程調整メールを送ります。入学前に受けていた支援、現在の修学上の困難、必要とする支援などを具体的に確認します。

書類提出

「支援申請書」を提出願います。

面談

学生支援室に加え、支援担当者となる教員・職員が面談します。

支援計画

支援計画を立案後、学生本人に説明し、合意のうえで支援計画を確定します。

支援開始

支援計画確定後、関連部署の支援担当者に連絡し、支援計画に基づき対応します。授業については、授業担当教員に渡せるよう「配慮依頼文書」を用意します。

※ 早めに相談いただけると、時間に余裕をもって支援準備をすることができます。

具体的な支援例

授業における支援

- ・履修登録時のサポート
- ・体調不良時や服薬時の途中退室許可
- ・課題提出期限の柔軟化

定期試験における支援

- ・別室受験
- ・試験時間の延長

学生生活における支援

- ・自家用車の大学入構
- ・健康診断時の介助、受診日時の調整

災害時における支援

- ・避難計画の事前打ち合わせ
- ・自助による避難が困難な場合の避難サポート

就職活動における支援

- ・キャリアセンターと連携した支援

保健センター

問い合わせ先 天野貞祐記念館1階東側

開室時間

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

TEL 048-946-1944

何をするにも「健康」が基本です。

健康であってこそ、元気に学校生活を送ることができます。

保健センターでは、以下のようなサポートをしています。具合が悪いときだけでなく、気になることがある時にも、気軽に利用していただけます。名前や相談内容等プライバシーは厳守いたしますので、ご安心ください。

健康・保健相談

学校医（内科・婦人科・精神科）

治療が必要かどうか、専門医への紹介、治療中の病気について、検査や結果について詳しく知りたいなど、具合が悪い時だけでなく、気になる症状がある時などにご利用いただけます。

スタッフ（保健師・看護師・カウンセラー（精神衛生相談員）・栄養士）

けがの手当てや体調不良の相談を、看護スタッフが随時受け付けています。また、不安や心配事等はカウンセラー（精神衛生相談員）、食事や栄養については栄養士の相談を受け付けています。

学生本人からだけでなく、ご父母からの相談も受け付けています。例えば…

- ・病気治療中で継続治療のため、埼玉での医療機関をどうしたらいいか。
- ・過去にコミュニケーションや対人関係の問題があり、大学生活にうまく適応できるか心配。
- ・学校へ登校するのが困難な時期があった。もしそうになったらどうしたらいいか。等

相談日については、PorTaII 掲示板 健康管理・健康相談に掲載しています。

健康診断

学校保健安全法に基づき、**全学生を対象に**、年度の初めに実施しています。健診後の再検査や医療機関紹介も行っています。

感染症について

(1) 学校感染症の届出

インフルエンザ・麻疹（はしか）をはじめとする学校感染症については**届出の制度**があります。

詳細は大学 HP（学生生活＞保健・安全衛生＞保健センター＞感染症の取扱いについて）をご覧ください。

罹患時は、必ず保健センターにご連絡ください。

(2) 予防接種

海外留学をお考えの方は早めにご相談ください。

設備について

一時的に休養が必要な学生には、センター内の休養室の利用も可能です。また、身長体重・血圧・体脂肪は、保健センターフロアで自由に測定できます。



カウンセリング・センター

問い合わせ先

天野貞祐記念館1階東側

開室時間（授業期間中）

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00（月2回ほど開室）

TEL: 048-946-1959（カウンセリング専用）

*長期休暇中は、短縮開室になります。

カウンセリング・センターでは、在学生からの相談だけでなく、在学生のことについて父母からの相談も受けつけています。相談などありましたら、どうぞご連絡ください。

カウンセリング・センターでは、表の通り、修学、進路、心理など在学生のさまざまな相談に応じています。過去2年間の相談学生は、22年度が852名、23年度が669名（1月末現在）となっています。

コロナ禍においては相談件数が大幅に減少していましたが、現在はコロナ禍以前の相談数に戻っています。

今後も、感染状況をみながら、対面相談と電話相談などを併用し、相談業務をおこなってまいります。

カウンセリング・センターの中には、心の休憩室という部屋があります。カウンセリングを受けなくても学内での居場所として利用できます。静かに過ごしたい人、気持ちを落ち着けたい人、一人で過ごしたい人などがおりましたら利用をおすすめください。

<参考>

大学ホームページ「カウンセリング・センター」も御覧ください。



2022年度 カウンセリング・センター来室状況

問題種別		男	女
修学相談	履修	0	0
	勉学	27	15
	転部・転科・転学	1	0
	留学	0	0
	免許や資格取得	2	1
進路相談	クラブ活動	6	1
	進級・進学	1	0
	卒業後の進路	53	41
心理相談	家庭	11	37
	精神衛生	117	178
	対人関係	31	34
	異性関係	5	5
	性格	49	65
	その他	85	87
	男女別計	388	464
	合計	852	

問題種別の人数は主訴に基づいて分類

2023年度（1月末現在） カウンセリング・センター来室状況

問題種別		男	女
修学相談	履修	5	1
	勉学	58	35
	転部・転科・転学	2	3
	留学	0	1
	免許や資格取得	1	0
進路相談	クラブ活動	2	3
	進級・進学	1	1
	卒業後の進路	15	30
心理相談	家庭	4	18
	精神衛生	108	181
	対人関係	14	11
	異性関係	3	11
	性格	14	64
	その他	30	53
	男女別計	257	412
	合計	669	

問題種別の人数は主訴に基づいて分類



学納金

問い合わせ先 会計課(中央棟2階)

学納金について

学納金は、春学期・秋学期の2期に分けて納めていただきます。

学部

(入学年度 2016～2023 年度)

春学期分…52万6,800円／秋学期分…52万6,000円

※ 内訳：授業料 38 万円、施設設備費 14 万円、父母の会費 6,000 円（以上各学期納入）、学生教育研究災害傷害保険 800 円（春学期納入）

※ 入学金 27 万円を別途納入。

(入学年度 2024 年度以降)

春学期分…56万6,800円／秋学期分…56万6,000円

※ 内訳：授業料 42 万円、教育充実費 14 万円、父母の会費 6,000 円（以上各学期納入）、学生教育研究災害傷害保険 800 円（春学期納入）

※ 入学金 19 万円を別途納入。

大学院

(入学年度 2022～2023 年度)

春学期分…47万5,800円／秋学期分…32万5,000円

※ 内訳：授業料 32 万 5,000 円（各学期納入）、施設設備費 15 万円、学生教育研究災害傷害保険 800 円（以上春学期納入）

(入学年度 2024 年度)

春学期分…47万5,800円／秋学期分…32万5,000円

※ 内訳：授業料 32 万 5,000 円（各学期納入）、教育充実費 15 万円、学生教育研究災害傷害保険 800 円（以上春学期納入）

※ 入学金 25 万円（本学卒業者は免除）を別途納入。

※ 博士後期課程の入学金について、本学大学院博士前期課程修了者は免除。

大学院 博士前期課程（1年コース）

春学期分…57万5,800円／秋学期分…42万5,000円

※ 内訳：授業料 42 万 5,000 円（各学期納入）、教育充実費 15 万円、学生教育研究災害傷害保険 800 円（以上春学期納入）

※ 入学金 25 万円（本学卒業者は免除）を別途納入。

納入方法について

1 口座振替による方法（原則）

Web 口座振替サービスは、パソコン・スマート

フォン等からインターネットを利用して、学費の納入にかかる口座振替（自動払込）の申込手続きができるサービスです。（詳細は本学ホームページ(学納金)を参照してください。）

※ 高等教育の修学支援新制度対象の方は、Web 口座振替をご利用できません。同制度による減免区分が決定した後、減免後の学納金をお振り込みください。

メリット

- ① 手数料が不要（毎学期の振込手数料もなくなります）
- ② “振込忘れ” がなくなります
- ③ 手続きが簡素化（申込書への記入や押印が不要）

振替日 春学期 … 4 月 12 日 秋学期 … 9 月 12 日

2 振込による方法

Web 口座振替サービスを利用していない方は、春学期（4 月）・秋学期（9 月）初旬に送付する本学指定の振込依頼書を使い、金融機関からお振り込みください。

納入期限 春学期… 4 月末日 秋学期… 9 月末日

2019 年度以前の入学者について

学納金納入方法に関しご不明な点は、大学ホームページをご覧くださいか、会計課までお問い合わせください（☎ 048-946-1648）。

除籍および学費延納制度について

納入期限を過ぎても納入がない場合は、学則の定めにより除籍となります。

なお、学納金を延納することができる学納金延納制度があります。

問い合わせ先（P42 参照）

除籍（教務課学事係） 学納金延納（会計課）

提携教育ローンについて

金融機関と提携した教育ローンがあります。詳細は、本学のホームページ（学納金）内からリンクされている各提携金融機関のホームページをご覧ください。

休学による授業料等減免について

留学や病気等の事情で休学をする場合は、教務課学事係で手続きを行ってください。

全学期（春・秋）、春学期または秋学期の休学を希望する場合は、期間内に手続きを取ることで当該学期の学納金が一部減免となります。

（入学年度 2016 ～ 2023 年度）

授業料のみ減免（施設設備費と学生教育研究災害傷害保険、父母の会費の減免はありません）。

（入学年度 2024 年度以降）

授業料の全額及び在籍基本料を除く教育充実費 6 万円を減免（在籍基本料 8 万円と学生教育研究災害傷害保険、父母の会費の減免はありません）。

※ 授業料等減免を受ける場合の手続きおよび減免額以外の納付金納入期限

全学期（春・秋）休学… 4 月末日

春学期休学… 4 月末日

秋学期休学… 9 月末日

届出および納入期限を過ぎると、授業料等減免は受けられませんのでご注意ください。

詳細は教務課学事係までお問い合わせください。

学納金 年間スケジュール (修学支援新制度の対象者は除く)

納付方法 時期	【原則】 Web口座振替	銀行振込	延納制度	
			一般延納のみ申請	一般延納の申請後に、 特別延納を追加申請
3月	上旬			
	中旬	【春学期から引渡し希望の場合】 3/20 登録手続期限		
	下旬			
4月	上旬	振込用紙発送 (大学→学生または保証人)		
	中旬	4/12 学納金 引落日 (土日祝の場合は翌営業日)	4/12 延納願配布開始 (窓口・ホームページ)	
	下旬	4/30 学納金 振込期限 (土日祝の場合は前営業日)	4/30 延納願 提出期限 (一般延納のみ申請)	4/30 延納願 提出期限 (特別延納まで申請)
5月 ~ 7月			6/25 学納金 振込期限 (土日祝の場合は前営業日)	6/25 学納金 振込期限 (土日祝の場合は前営業日)
			6/25 一般延納 提出期限 特別延納 提出期限	6/25 一般延納 提出期限 特別延納 提出期限
			8/25 学納金 最終振込期限 (土日祝の場合は前営業日)	8/25 学納金 最終振込期限 (土日祝の場合は前営業日)
8月	上旬			
	中旬	【秋学期から引渡し希望の場合】 8/20 登録手続期限		
	下旬			
9月	上旬	振込用紙発送 (大学→学生または保証人)		
	中旬	9/12 学納金 引落日 (土日祝の場合は翌営業日)	9/12 延納願配布開始 (窓口・ホームページ)	
	下旬	9/30 学納金 振込期限 (土日祝の場合は前営業日)	9/30 延納願 提出期限 (一般延納のみ申請)	9/30 延納願 提出期限 (特別延納まで申請)
10月 ~ 1月			11/25 学納金 振込期限 (土日祝の場合は前営業日)	11/25 学納金 振込期限 (土日祝の場合は前営業日)
			11/25 一般延納 提出期限 特別延納 提出期限	11/25 一般延納 提出期限 特別延納 提出期限
			1/25 学納金 最終振込期限 (土日祝の場合は前営業日)	1/25 学納金 最終振込期限 (土日祝の場合は前営業日)

※ Web口座振替について
 ・ 随時申請可能です。
 ・ 振替日の前に個別のご案内はいたしません。振替額などの詳細は、大学ホームページ、または大学ニュース等でご確認ください。

奨学金

問い合わせ先 学生課奨学係(学生センター1階)

獨協大学では、修学の意思がありながら経済的理由で学業に支障をきたしている学生を支援するため、本学独自の獨協大学学部奨学金をはじめ、国(日本学生支援機構)、民間団体による奨学金制度を取り扱っています。

手続等の詳細は『奨学金の栞』で説明しています。『奨学金の栞』は3月と9月に学生課で配布するとともに、大学ホームページ(学生生活>奨学制度>学部学生)に掲載しています。

奨学金を利用するには所得・資産基準と成績基準を満たす必要があります。国の奨学金は4月と10月の募集、国以外の奨学金は4月の募集が中心です。締切を逃さないようご注意ください。

事故や災害等で家計が急変した場合などに随時申請できる制度もあります。事由によって応募できる奨学金が異なりますので、何か起きたらお早めに学生課奨学係にご相談ください。

奨学金採用後に必要な手続きは、すべて学生用ポータルサイト「PorTa II」で案内します。手続きを怠ると、廃止処分が下されます。また、成績が悪化した場合も廃止になります。病気等で授業出席が難しくなった場合には、まず学生課奨学係に相談ください。

大学生活では自己管理が求められます。手続きを漏れなく行い、健康や生活リズムを維持し、学業を全うできるよう、父母の皆様からお声かけをお願いいたします。

獨協大学学部奨学金(原則として4月のみ受付)

国の給付奨学金を受けられない方などを対象に給付し、家計の負担を軽減しています。

制度名	給付月額	支援期間	対象学年
獨協大学一種奨学金	60,000円または30,000円	1年間 (毎年度申請可能)	全学年
獨協大学社会人学生奨学金	60,000円または30,000円		
獨協大学父母の会奨学金	30,000円		
中村甫尚・恵卿奨学金	25,000円		

国の奨学金(4月および10月に受付)

多くの学生が利用している制度です。

給付型と貸与型の組み合わせも可能で、様々な状況の家庭に対応しています。

制度名	種類	月額	支援期間	対象学年
高等教育の 修学支援新制度	給付奨学金 + 入学金・授業料減免	世帯収入や家族構成により異なる (採用後も毎年判定)	最長 4年間	全学年
日本学生支援機構 第一種貸与奨学金	貸与奨学金 (無利子)	20,000～54,000円から選択 (自宅外通学は64,000円も選択可)		
日本学生支援機構 第二種貸与奨学金	貸与奨学金 (有利子、上限3%)	20,000～120,000円から選択		

民間奨学金（4月のみ受付）

民間団体の奨学金のうち、本学に推薦枠をいただいているものです。
所得・資産基準が比較的緩い代わりに成績を重視し、卒業後の活躍を見据えて頑張る学生を応援しています。
採用後は他大学の学生との交流会などがあり、人脈や見聞を広げる機会にもなります。

団体名	新規募集対象学年	給付月額	支援期間	人数（2023年度実績） （新規採用 / 合計）
竹中育英会	2年生	80,000円	最短修業年限	1名 / 5名
三菱UFJ信託奨学財団	2、3年生	35,000円	最短修業年限	2名 / 4名
中村積善会	全学年	50,000円	最短修業年限	2名 / 4名
春秋育英会	全学年	30,000円	最短修業年限	2名 / 6名
獨協大学同窓会	3年生	30,000円	最短修業年限	3名 / 6名
堀川隆文育英会	全学年	40,000円	詳細未定	0名 / 15名

その他の奨学金（主に4～6月ごろ受付）

全国の地方公共団体や民間団体が様々な奨学金事業を行い、多くの学生が採用されています。
本学に届いた案内はPorTaⅡ掲示板「学生生活・奨学金」にて掲載しています。

奨学金以外の教育ローン（随時受付）

選考基準や時期の関係で奨学金に応募できない場合にご検討ください。
日本政策金融公庫が行っている「国の教育ローン」は、入学前から相談と申込を受け付けています。
また、本学が金融機関と提携しているローンがあります。本学ホームページでご確認ください。

課外活動

問い合わせ先 学友会総務部長室事務課(学生センター3階)

クラブ・サークル活動は正課の教育課程とは異なり、学生の主体性が尊重された団体活動です。

共にひとつのことに真剣に打ち込むことにより、自発性、想像力、課題発見力、協調性、判断力など、社会で生きていくために必要とされる力が培われていくことでしょう。

本学ではどの団体にも、自らの目標を達成するとともに、その活動を通じて学びを重ねることも大切にしてもらい、本学創設者の言葉を借りれば、「人間性の開発」を目指してもらいたいと考えています。

以下に、「獨協大学学友会会則」の前文を紹介します。

獨協大学学友会会則

前文

本学では正課教育では得がたいような知識、経験、技術、体力の発達を課外活動によって補足して、人間形成の完ぺきを期するために大学教育の一環として「獨協大学学友会」が設けられている。

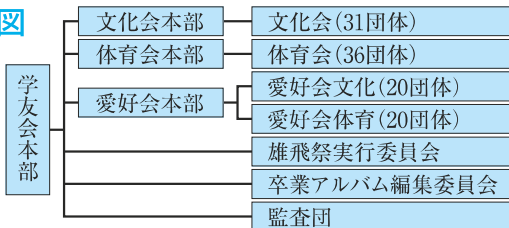
学長が会長となり、学生全員がその会員となる根拠がここにある。

本学学友会の活動は文化会、体育会、愛好会に分かれ、各部門にそれぞれ各種の部、同好会、愛好会所属団体が設けられている。

学生は本学学友会の主旨にしたがって、各自自己の最も適する部、同好会、愛好会所属団体を選んで一人残らずいずれかの部、同好会、愛好会所属団体に参加することが望ましい。

本学学友会の活動は課外活動としての特質を活かすために、学生の自主と自治とが十分に尊重されるとともに本学の大学教育の一環としての教育活動であるから教員の指導、助言から遊離するものであってはならない。

組織図



安全に活動してもらうための取組み

クラブ・サークルの幹部部員を対象に、月に1回大学から注意事項を伝える定例会を設けています。その他、「熱中症予防講習会」「普通救命講習」を開催するなどし、重大な事故の抑止に努めています。

体育会団体に所属する部員には原則「スポーツ安全保険」または「学研災付帯学生生活総合保険」のいずれかに加入することを義務付けています。

合宿について

合宿は学生が中心となり計画し、内容を顧問教職員が必ず事前に確認することになっています。その後、学友会総務部長室事務課でも確認し、無理や危険な要素があれば指摘をして、計画内容を再検討するように指導しています。

活動で授業に出席できない場合の対応

本学には公欠制度がありません。公式試合に参加する場合でも、各自が担当教員に欠席の報告をすることとなります。

各団体の取り組み結果について

各団体には毎年一年間の活動目標を掲げてもらいます。その目標を達成する、または、著しく努力した結果が見られる団体・個人には、「学友会活動奨励賞」を授与する制度を設けています。

また、優秀な成績を取めた場合は大学のホームページで紹介しています。

< 2023年度 学友会活動奨励賞 受賞団体・個人の一例 >

放送研究会	団体	第40回NHK全国大学放送コンテスト映像CM部門第1位、及び文部科学大臣賞
ゴルフ部	団体	関東学生秋季Dブロック対抗戦優勝Cブロック昇格
硬式野球部	個人	首都大学野球春季2部リーグ戦首位打者
舞踏研究会	個人	第62回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会ワルツの部2位
ラクロス部(男子)	個人	関東学生ラクロス1部リーグ得点王
ボウリング部	個人	第40回関東地区選手権大会4人チーム戦優勝
アーチェリー部	個人	2023年度関東学生アーチェリー新人個人選手権大会リカーブSH女子経験者の部1位

お問い合わせに関して

- 留学中や緊急の場合を除き、原則として学生本人が各窓口で確認するようご指導ください。窓口対応時間は授業期間中 9:00～17:00（土曜日は～12:00）です。
- 問い合わせ先はホームページもご参照ください。
- 学生個人に関する情報については、プライバシー保護の面から電話による問い合わせにはお答えできません。

下記の期間は窓口受付を行いません。

- 日曜日および祝日
 - 夏季および年末年始の一斉休業期間
 - 大学入学共通テスト実施日、学部入学試験日
 - 大学独自の振替休日（キャンパスカレンダー参照）
- *大学ホームページ等で確認してください。

	内 容	問い合わせ先	詳 細	直通電話番号（市外局番048）	参照ページ
授業および試験	進級の結果について知りたい	教務課 各学部係	例年3月中旬、掲示板に発表されます。	(外国語学部) 946-1656 (国際教養学部) 946-1825 (経済学部) 946-1657 (法学部) 946-1658	P.9
	卒業発表の結果について知りたい		例年3月5日前後、掲示板に発表されます。		P.9
	留年について相談したい		進級・卒業発表後に留年等の相談を受け付けます。		P.9
	成績について知りたい		成績通知表は、9月中旬および3月下旬、学生および保証人に通知します。		P.11
	転部・転科をしたい	教務課 免許課程係	転部・転科試験は3月上旬に行います。受付は1月下旬です。	946-1663	P.9
	休学・退学・復学の手続きをしたい	教務課 学事係	学生の身分に関わることなので、所属学部窓口にもご相談ください。	946-1761	P.8
	授業評価アンケートについて	自己点検・ 評価室	年2回学生による授業評価アンケートを実施しています。	946-1824	P.8
教育環境改善アンケートについて	隔年で学生による教育環境改善アンケートを実施しています。		P.8		
学生生活	証明書がほしい	教務課 各学部係	学内の証明書自動発行機で発行します。卒業後の申請方法は本学ホームページでご案内しています。	上欄参照	P.45
	本人・保証人の住所を変更したい	学生課 学生生活係	学生本人がPorTa IIで変更できます。	946-1670	P.45
	保証人を変更したい		所定用紙で窓口へ届け出てください（電話、FAX、メール不可）。		P.45
	奨学金を利用したい	学生課 奨学係	まずはご相談ください。申請等の手続きは、学生本人が窓口で行ってください。	946-1671	P.39
	学費を延納したい	会計課	経済的、その他事情により学費を延納する場合は、延納願の提出が必要です。詳細は、本学ホームページでご案内しています。	946-1648	P.36
	対人関係、性格、進路その他、心配ごとについて相談したい	カウンセリング・ センター	専門のカウンセラーが相談に応じています。直接来室するか、電話で相談日を予約してください（父母からの相談も受け付けます）。	946-1959	P.35
	心身の健康上のことで相談したい	保健 センター	校医・保健師・看護師・カウンセラー（精神衛生相談員）が相談に応じます。	946-1944	P.34

	内 容	問い合わせ先	詳 細	直通電話番号 (市外局番048)	参照ページ
学生生活	授業中や大学行事中に事故にあった	学生課 学生生活係	学生教育研究災害傷害保険に入っていますので、届け出てください。	946-1670	
	アルバイト中にケガをした、自転車で人にケガをさせた	同窓会 事務室	同窓会がご案内した学研災付帯学生生活総合保険に加入している場合、届け出てください。	944-9700	P.50
	アパートを紹介してほしい	アパート紹介 サービス	お気軽にご相談してください。	942-8811	
	教科書販売について知りたい、書籍・文房具の販売について	ぶっくぎやらしい DUO	市価の10%OFFで購入できます。	944-3475	P.51
	コンビニエンスストアについて	セブンイレブン 獨協大学店	充実した品揃えと生活応援サービスで、キャンパスライフを応援します	946-0037	
	障がいのため困っていることがある	学生 支援室	障がいのある学生の学業、大学生活に関する相談を受け付けます。	954-7020	P.33
課外活動	課外活動上のことで相談したい (入部・退部等)	学友会 総務部長室 事務課	いつでも、気軽に相談してください。	946-1720	P.41
	課外活動中に事故にあった		事故発生の日時、場所、団体名等をすみやかに連絡してください。		
留学	留学制度について知りたい	国際交流 センター	説明会等も随時行っておりますので、お気軽にご相談ください。	946-1918 ∫ 1920	P.26~27
	海外語学研修 (短期留学) について知りたい				
資格取得	教職・司書・司書教諭について知りたい	教務課 免許課程係	教職・司書相談室を設けています。	946-1663	P.18
	キャリア・ディベロップメント講座、講座関連資格試験について知りたい	エクステン ション センター	公務員試験や各種検定試験対策の講座を設けています。いつでもお気軽にご相談ください。	(各種講座担当) 946-2006	
大学院	大学院について知りたい	大学院 事務室 事務課	いつでもお気軽にご相談ください。	946-1666	P.19
就職	進路相談、採用試験・就職状況等について知りたい	キャリア センター	いつでもお気軽にご相談ください。	(就職支援係) 946-1676 (講座企画係) 946-1675	P.28~30
オープンカレッジ	講座内容・申込方法について知りたい、パンフレットがほしい	エクステン ション センター	講座案内 (パンフレット) は、HP・電話でご請求ください。	(オープンカレッジ担当) 946-1678	P.46
図書館	図書館を利用したい	図書館	1階メインカウンターにご相談ください。	(メインカウンター) 946-1692	P.25
入試	兄弟・姉妹も獨協大学で学ばせたい	入試課	紹介者様とご家族、ご親戚、ご友人にオリジナルグッズを差し上げます。大学ガイドブックと併せて、お渡しください。「卒業生子女・弟妹入試」制度もあります。	946-1900	
	友人や親戚にも獨協大学を紹介したい				
緊急連絡	日・祝日、夜間、一斉休業期間中などで、上記各部署の電話がつかない	守衛所	緊急時連絡網により、担当部署に連絡します。	946-1698	
総合窓口	どこに問い合わせたらよいか、わからない	総合企画課	電話でお問い合わせください。	946-1635	

学外施設

	郵便番号	住 所	電話番号
敬和館	340-0041	埼玉県草加市松原1-1-10	048-944-5881
獨協大学地域と子ども リーガルサービスセンター	340-0041	埼玉県草加市松原1-1-10 敬和会館1階	048-946-1771
獨協地域と子ども法律事務所	340-0041	埼玉県草加市松原1-1-10 敬和会館1階	048-946-1730
越谷グラウンド	343-0036	埼玉県越谷市三野宮字中谷1061-1	048-979-6505
獨協大学コミュニティスクエア	340-0041	埼玉県草加市松原3-4-1	048-946-1650

越谷グラウンド（埼玉県越谷市）

公式戦ができる野球場（天野貞祐記念球場）と、ラクロス等もできる設備を備えたサッカー場が整備されています。大学からグラウンドまでは利用団体専用往復バスが運行しています。

問い合わせ先 学友会総務部長室事務課
☎：048-946-1940

獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター

センターでは、子どもや子どもに関わる大人からの相談に対して、自治体、教育機関、NPO や、医療、心理、福祉の専門家などと連携をとりながら解決に向けた支援をしています。相談内容によっては、「獨協地域と子ども法律事務所」と連携して法的支援につなげることもあります。

創立 60 周年に向けて

獨協大学は、2024 年 10 月 22 日に創立 60 周年を迎えます。

60 年は人の一生に倣えば「還暦」にあたります。還暦とは、干支が一巡して“もとの暦に還る”ことに由来し、もう一度生まれ変わって出直すという意味を持ちます。

創立 60 周年記念事業は、これに関連付け、これまで積み重ねてきた伝統を継承しつつ、新たな価値を生む契機とし、獨協ブランドの再構築を目指します。



獨協学園

	郵便番号	住 所	電話番号
獨協学園本部	340-0042	埼玉県草加市学園町1-1	048-946-1631
獨協大学	340-0042	埼玉県草加市学園町1-1	048-946-1640
獨協医科大学	321-0293	栃木県下都賀郡壬生町北小林880	0282-86-1111
獨協医科大学病院	321-0293	栃木県下都賀郡壬生町北小林880	0282-86-1111
獨協医科大学埼玉医療センター	343-8555	埼玉県越谷市南越谷2-1-50	048-965-1111
獨協医科大学埼玉医療センター附属 越谷クリニック	343-0816	埼玉県越谷市弥生町17-1 越谷ツインシティ Aシティ 4F	048-965-1385
獨協医科大学日光医療センター	321-1298	栃木県日光市森友145-1	0288-23-7000
獨協医科大学附属看護専門学校	321-0293	栃木県下都賀郡壬生町北小林880	0282-87-2250
獨協医科大学附属看護専門学校 三郷校	341-0003	埼玉県三郷市彦成3-11-21	048-948-7580
姫路獨協大学	670-8524	兵庫県姫路市上大野7-2-1	079-223-2211
獨協中学・高等学校	112-0014	東京都文京区関口3-8-1	03-3943-3651
獨協埼玉中学高等学校	343-0037	埼玉県越谷市恩間新田寺前316	048-977-5441

各種証明書、願・届出について

*印の証明書は、証明書自動発行機で申請書を購入した後、窓口申し込めます（発行に1～7日間かかります）。

証明書		手数料	申し込み先	摘要
成績証明書 (7・8学期生は卒業見込付成績証明書)	(和文)	100円	証明書自動発行機	奨学金の申請、就職活動、留学手続等に必要。
	(英文)	300円		
卒業見込証明書	(和文)	100円		
	(英文)	300円		
在籍証明書	(和文)	100円		社会保険等の手続に必要。
	(英文)	300円		
TOEFL® TEST受験用「身分証明書」*		300円	教務課 各学部係	パスポートを所持していないTOEFL® TEST受験者に発行。
教職・司書教諭・司書関係証明書*		100円	教務課 免許課程係	教育職員免許状取得見込・司書資格単位修得（見込）・司書教諭単位取得（見込）、人物考査書（記載は演習担当教員に直接依頼）等の証明書を発行。
健康診断証明書	(和文)	100円	証明書自動発行機	定期健康診断受診者に4月下旬から、当該年度のものを発行予定。 卒業生に健康診断証明書を発行することはできません。
	* (英文)	300円	保健センター	
学生証再交付		1,000円	学生課 学生生活係	本学学生であることを示す身分証明書。

○卒業生は発行できる証明書、手数料、申し込み先が異なります。

願・届出	取り扱い窓口	摘要
休学願	教務課 学事係	いずれも届出制ではなく願出制。所定の用紙に学生本人および保証人の署名・捺印が必要。 休学願は提出時期により授業料の減免制度あり。 退学願は当該学期の納付金未納の場合は願出不可。
復学願		
退学願		
改姓・改名届		
本籍地変更届		学生本人の姓名に変更があった際、戸籍抄本または戸籍謄本（コピー可）を添付し所定用紙で届け出る。
保証人変更届	学生課 学生生活係	本籍地を変更した際、住民票の写しを添付し所定用紙で届け出る。
		大学ホームページからダウンロードし記入のうえ、保証人の身分証明書を添付し届け出る。

〈ご参考〉保証人変更に際しては、学費口座自動振替（会計課）、日本学生支援機構奨学金（学生課）、学生の成績開示（教務課）等の手続きも必要となります。

オープンカレッジ

問い合わせ先

エクステンションセンター(中央棟1階)

☎048-946-1678 FAX 048-946-1935

大学が行う生涯学習講座です。

2023年度は、社会人を中心に、学生を含む約1,600名が学んでいました。

本年度春期は対面形式で、外国語9言語に加え、多彩なテーマの講義講座や、資格取得講座の63講

座を開講します。

希望する方には講座案内をお届けします(無料)。

詳細、及び秋期講座(10~12月)はホームページをご覧ください。

2024年度春期 開設講座 開講期間 春期：5~7月

分野	講座名	曜日	時間
哲学・芸術・文学	カントの政治哲学	水	13:35~15:05
	位牌から考える宗教思想	木	13:35~15:05
	中東の宗教と歴史	木	10:55~12:25
	謡を楽しむ	月	13:35~15:05
	イタリア・オペラ史	水	10:55~12:25
	平安文学の四季表現	月	10:55~12:25
	詩への誘い	木	13:35~15:05
	フィクションの中の警察	水	9:00~10:30
	舞台上の物語と今日の世界	月	13:35~15:05
	アイルランド文学を読む	土	10:55~12:25
歴史・社会・国際	アイルランドの文学・文化・歴史を巡る旅	火	10:55~12:25
	葬送と墓の文化史	火	10:55~12:25
	日本の歳時記	火	13:35~15:05
	西部開拓とアメリカ人	月	13:35~15:05
	中国史への招待	土	10:55~12:25
	現代社会を読む	木	13:35~15:05
	現代ドイツの生活	月	10:55~12:25
	フランス現代社会入門	木	15:30~17:00
	中国文化研究への招待	金	10:55~12:25
	中国とはどんな国か	火	10:55~12:25
法律・経済・生活	バイクで走って見た世界	土	10:55~12:25
	食と農から考える地域と世界	月	13:35~15:05
	日本の刑事手続き	金	15:30~17:00
	相続・遺言を法から学ぶ	水	10:55~12:25
	地球環境と法	月	13:35~15:05
	現代環境問題をどう見るか	木	15:30~17:00
	宅建士講座	(講座案内参照)	
	FP講座	(講座案内参照)	
	簿記検定講座	(講座案内参照)	
	情報処理講座1	水	15:30~18:15
情報処理講座2	土	9:00~12:15	
秘書検定講座	土	9:00~12:15	

分野	講座名	曜日	時間
自然・物理・環境	地域の環境を考える	土	10:55~12:25
	毎日レッスン!実践英会話(初級~中級)	月~金	9:10~18:00(内40分)
外国語	英語A(初級)	土	9:00~10:30
	英語B(初級)	土	10:55~12:25
	英語C(中級)	土	10:55~12:25
	英語D(中級)	土	9:00~10:30
	英語E(上級)	土	9:00~10:30
	ビジネス英語(中級)	土	10:55~12:25
	英文ライティング(中級)	土	9:00~10:30
	ドイツ語A(入門)	火	9:00~10:30
	ドイツ語B(初級)	火	13:35~15:05
	ドイツ語C(初級)	土	10:55~12:25
	ドイツ語D(中級)	土	13:35~15:05
	フランス語A(入門)	水	15:30~17:00
	フランス語B(初級)	火	15:30~17:00
	フランス語C(中級)	月	15:30~17:00
	スペイン語A(入門)	土	9:00~10:30
	スペイン語B(初級)	土	10:55~12:25
	イタリア語(中級)	月	10:55~12:25
	中国語A(入門)	土	9:00~10:30
	中国語B(初級)	土	10:55~12:25
	中国語C(中級)	月	15:30~17:00
	韓国語A(入門)	金	15:30~17:00
	韓国語B(初級)	火	13:35~15:05
	韓国語C(中級)	土	9:00~10:30
	韓国語D(上級)	土	10:55~12:25
	タイ語A(入門)	土	13:35~15:05
	タイ語B(初級)	土	10:55~12:25
	日本語A(初級)*	土	13:35~15:05
	日本語B(中級)*	水	9:00~12:25
日本語C(上級)*	土	9:00~12:25	

*草加市寄付講座であり、外国人を対象としています



大学よりみなさまへ

学生の呼び出しおよび

学生宛の郵便・宅配便には応じられません

大学では全学放送での呼び出しやメッセージの伝達はいたしかねます。また、学生個人宛の郵便・宅配便を大学に送付されても、取り次ぎはできません。

健康保険証について

病気やけがをした時に、手元に健康保険証がないと、保険診療が受けられない場合があります。一人1枚交付されている健康保険証をお持ちの場合、必ず学生本人に携帯させてください。一世帯1枚交付の健康保険証の場合、保険診療が受けられるよう「遠隔地被保険者証」を学生に所持させてください。交付申請に際しては、扶養者の勤務先にお問い合わせください。

心配ごとがある場合

学生のことで何か気になることや心配なことなどありましたら、どうぞ遠慮なくカウンセリング・センターにご連絡ください。電話でもご相談に応じます。(ご予約制)

受付時間：月～金… 9：00～17：00 土… 9：00～12：00（月2回程度開室）
場 所：天野貞祐記念館1階
カウンセリング予約電話：☎ 048-946-1959 ：☎ 048-946-2895

盗難に注意

学内での盗難が発生しています。貴重品は常に身につけ、盗難防止に努めるようご指導ください。

遺失物について

構内での遺失物のうち、財布、学生証、定期券など貴重品の場合は、本人の携帯電話に連絡します。連絡が取れない場合は、ご自宅に連絡することがあります。

落とし物や忘れ物をしないようご指導ください。

個人情報保護について

個人情報保護法に則り、獨協大学では学生、卒業生および学生の保証人の個人データの保護に万全を期すよう努めています。

[トップページ](#) > [MENU](#) > [大学紹介](#) > [社会的取組・コンプライアンス活動](#) > [個人情報保護に関する取組み](#)

インターネット社会を安全に過ごすために

インターネット利用が普及した今日、掲示板やブログ、X (旧Twitter)、FacebookなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は非常に身近なコミュニケーションツールとして定着しています。これらはインターネットを通じ全世界に発信されており、想像以上に多くの人の目に触れるものです。

大変便利なツールですが、使い方を誤ると情報モラルの問題となる場合があります。不用意に自分や他人の個人情報やプライバシー情報を掲載したり、誹謗、中傷や違法行為と思われるような書き込みをすると、思わぬトラブルに発展しかねません。

インターネット上で行う行為の危険性について留意すると同時に、法令遵守への自覚が必要です。大学ホームページに「ソーシャルメディア利用のマナーに関するガイドライン」を掲載していますのでご確認ください。

[トップページ](#) > [MENU](#) > [大学紹介](#) > [社会的取組・コンプライアンス活動](#) > [ソーシャルメディア利用のマナー](#)

「獨協大学ニュース」について

本学の最新情報を知っていただくため、『獨協大学ニュース』を保証人の皆様に毎号お送りしています。学生を主対象に発行していますが、保証人の皆様も楽しみ、話題を共有できるような企画が盛り込まれておりますのでご覧ください。

また、本学からの一方的な情報伝達に終始せず、広く読者の声を集めるコミュニケーション・ツールの機能も果たしています。ご意見・ご感想・情報などありましたら、ぜひ総合企画課にお寄せください。

なお、兄弟姉妹で本学に在籍している場合、その人数分ニュースが送付されますが、ご連絡いただければ1部のみお送りするように変更します。

発行回数： 年4回

原則として発行月の1日発行

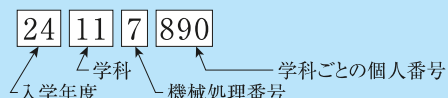
問い合わせ： ☎ 048-946-1683 ☎ 048-943-3160

E-mail : kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学籍番号と学籍ソート番号

獨協大学では、学生全員に、8桁の「学籍番号」が付与されています。この番号は、卒業するまで途中変更はありません。(転部・転科した場合を除く。)

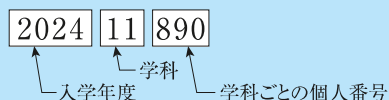
学籍番号例



学科	11	21
	ドイツ語	経済
	英語	経営
	フランス語	国際環境経済
	交流文化	法律
	言語文化	32 国際関係法
		33 総合政策

学生のデータ管理のために「学籍番号」があるように、ご父母のデータ管理のためには、9桁の「学籍ソート番号」があります。

学籍ソート番号例



学生の「学籍番号」の入学年度を示す西暦2桁を4桁に直し、機械処理番号を除くと、「学籍ソート番号」となります。

「学籍ソート番号」は、各種配送物の宛名ラベルに印字してお知らせすることが多いため、「宛名ラベル番号」と表現することがあります。また、学納金をお振込いただく時には、「振込人コード」と表現します。

獨協大学父母の会・各種手続には、この学籍ソート番号が必要となります。

学籍ソート番号 宛名ラベル番号・振込人コード (保証人用)							
2	0						

学籍番号 (学生用)							

学籍番号、学籍ソート番号は、卒業するまで途中変更はありません。(転部・転科した場合を除く。)

獨協大学父母の会

問い合わせ先 父母の会事務局(総合企画課内)

獨協大学父母の会は、大学の教育方針に則り、大学と大学の学部在籍する学生の父母または保証人が連携を図り、学生の学習活動を支援するとともに、大学の教育研究環境の充実および発展に寄与することを目的として2008年10月に設立されました。

本学に在籍する学生1名につき、その父母または父母以外の保証人のいずれか1名からなる正会員と本学専任教職員からなる特別会員で構成され、本学学長が名誉会長となっています。ほぼ毎月行われる幹事会では、父母の会の年間事業計画に則り、様々な企画を立案しています。

■ 2024年度の主な事業計画

- ・父母懇談会の開催(学内会場及び学外会場)
- ・進路就職活動への支援
- ・奨学金事業への支援
- ・教育環境向上のための助成
- ・学部教育活性化のための助成
- ・大学、学部または学生活動への助成
- ・機関紙「獨協大学父母の会会報」の発行
- ・学生チャレンジ支援プログラムの実施
- ・学生に学びの機会を提供する正課外企画の実施
- ・文化施設利用制度への加入
- ・ホームページの運営
- ・父母配付用ノベルティグッズの製作
- ・学生生活環境の充実に関する支援
- ・入学式及び卒業式に関わる諸費用の助成
- ・大学の各種ガイドブックの作成費助成
- ・「大学ニュース」の保証人宛発送代の助成
- ・大学創立60周年記念事業への助成並びに参画



父母懇談会

■ 各種手続

【会員数減免申請】

本学に、兄弟姉妹で複数の学生が同時に在籍している場合は、それぞれの学生につき、それぞれ1名のご父母またはご父母以外の保証人様が会員となります。

同じお名前での会員登録は可能ですが、会費は、学生の数ごとに発生いたします。

獨協大学父母の会規程第5条第2項により、複数の学生につき会員1名とすることが可能ですので、希望のご家庭は、申請書(所定の書式)により、獨協大学父母の会事務局に申請してください。

会費は、学生ごとに授業料と同時に納めいただき、申請後に減免分の会費をご希望の銀行口座に返還いたします。

【会費減免措置】

経済的理由で休学なさる場合は、会費減免の措置が適用されます。

該当するご家庭は、申請書(所定の書式)により、獨協大学父母の会事務局に申請してください。

【住所・保証人変更届】

在学期間中は、父母の会総会開催通知、父母の会会報、父母懇談会等の各種行事案内を保証人住所宛てにお送りいたします。大学に届け出た保証人住所に変更が生じた場合は、すみやかに、学生自身がPorTaⅡの「住所変更」で変更してください。また、保証人に変更が生じた場合は、「保証人変更届」を大学ホームページよりダウンロードし、学生課窓口(学生センター1階)へ郵送又は提出してください。

問い合わせ：

父母の会事務局(総合企画課内)

<https://dokkyofubonokai.jp/>

☎ 048-946-1962 FAX 048-943-3160

fubonokai@stf.dokkyo.ac.jp

同窓会

問い合わせ先 同窓会事務局(35周年記念館) ☎048-941-6865

同窓会について

卒業生はおよそ10万人。日本全国、そして世界のさまざまな分野で活躍しています。

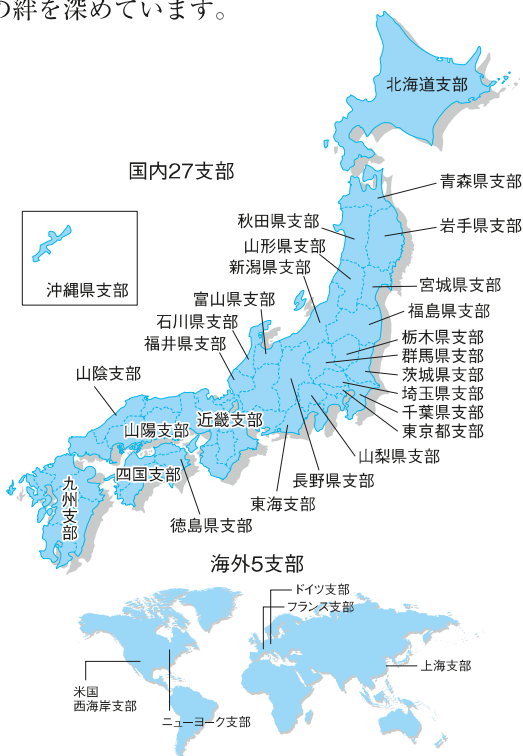
卒業時に3万円(終身会費)を納入することにより「同窓会正会員」となります。

入会の主な特典

- ①同窓会報の送付(年2回)
- ②地方支部総会へのご案内
- ③同窓会主催行事への優先参加

世界に広がるネットワーク

各支部とも独自性豊かな活動を通じ、それぞれの地域で世代を超えた交流による獨協ファミリーの絆を深めています。



(2023年9月現在)

同窓会報・同窓会ウェブサイト

同窓会報

同窓会の活動状況はもとより、全国の同窓生から寄せられる数々の情報、母校の近況などを掲載しています。

情報の提供と親しみやすい紙面構成を心がけて皆様のお手元にお届けしています。

同窓会ウェブサイト

同窓会の活動や会員の情報などのほか、各地方支部の活動報告などが掲載されています。

同窓会公式サイト

<https://www.dokkyo.com/>

一般社団法人獨協大学同窓会のFacebook、YouTubeチャンネルもご覧ください。

大学・在学生をバックアップ

卒業アルバムの制作・贈呈

卒業アルバムを制作し、卒業生全員に贈呈しています。

同窓会奨学金

毎年6名の学生に年間36万円の奨学金の給付(返還不要)を行っています。ご寄付は随時受付しています。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

所澤賞・しょうざわ縦柳会奨励賞

体育会OB会連合会「縦柳会」は、故・所澤久雄先生の精神と意思を受け継ぎ、学友会活動奨励賞授与式にて体育會各団体の成績や活動を評価し、所澤賞、縦柳会奨励賞を授与しています。

学生行事への援助・協力

雄飛祭、創造祭、「天野杯」などの冠行事に援助・協力しています。

学ぶ・生活する、あらゆるシーンでキャンパスライフをサポート

母校獨協大学をはじめ、獨協学園全体への支援を主たる目的として、数々の事業を行なっております。

サービススポット DUO

<主な取扱い業務>

- 各種専門学校、自動車教習所の受付
- 獨協大学オリジナルグッズ販売
- アパート・マンションなど部屋探し

総合保険代理店 株式会社デュオ

在学生を対象とした学研災付帯学生生活総合保険をはじめとする保険の取り扱い。

※ これら事業の収益金の一部は、奨学金や学生援助金を通じて獨協大学に還元しています。



学生生活

施設紹介

以下は2023年度秋学期の内容です。今後の社会情勢や各店舗との契約状況等によって、運用が異なる場合があります。

学生食堂（35周年記念館2階）

約500席の広いスペースが自慢の学生食堂。日替わり定食を中心に、カレーや麺なども提供しています。セルフサービスです。

《営業時間》

月～金…11:30～13:30

※このほか、教職員食堂（中央棟2階）も利用できます（学生の利用時間 12:50～13:30）。

STYLE CAFE（天野貞祐記念館1階）

2024年度秋学期に、リニューアルオープンを予定。

STYLE CAFE STAND（学生センター1階）

草加市旭町で50年以上親しまれている「パンとケーキの店 Asahido」運営の、手作りパンの店です。獨協大学専用メニュー（カップケーキ等）も販売しています。

《営業時間》

火～金…10:30～15:00 ※月は休み

キッチンカー（西棟前2台、東棟前1～2台）

日替わりで一日3～4台のキッチンカーが来ています。人気のビビンバ丼やケバブのほか、週に2回程度、ワッフルやクレープなどスイーツのキッチンカーも登場します。

《営業時間》

月～金…11:30～14:30（なくなり次第終了）

お弁当販売（西棟1階ロビー）

地元の人気店「ひまわり弁当」の手作り弁当を販売しています。毎日8種類以上で350円から。ボリューム満点でお財布にもやさしいお弁当です。

《営業時間》

月～金…11:30～13:30（なくなり次第終了）

ぶっくぎゃらりい DUO（35周年記念館1階）

書籍・文具コーナーがあり、市価の10%OFFで販売しています。

《営業時間》

月～金…9:30～16:00

土日祝日は休業です。

セブン-イレブン獨協大学店（35周年記念館1階）

おにぎり・お弁当・サンドイッチ等の食料品や日用雑貨の他、銀行ATMや公共料金収納サービス、「チケットぴあ」も利用できるマルチコピー機も設置しています。

《営業時間》

月～金…8:30～19:00 / 土…8:30～17:00

サービススポット DUO（35周年記念館1階）

獨協大生割引での専門学校の受付、自動車教習所（合宿もあり）の紹介もしています。コピーカードの販売、コピーコーナーもあります。

《営業時間》月～金…10:00～15:00（水曜定休）

アパート紹介サービス（35周年記念館1階）

同窓生スタッフが親身にアパート紹介を行っています。時期により営業日時が異なります。詳細は、検索エンジンで「獨協ハウナビ」にアクセスしてください。

※営業時間 営業日、時間等が変更となる場合があります。
また、長期休業期間中の営業日・時間は、通常営業と異なります。

Campus Map



AED 喫煙場所 東武スカイツリーライン「獨協大学前(草加松原)」西口から徒歩5分

獨協大学敬和会館

獨協大学敬和館
・獨協大学地域と子ども
リーガルサービスセンター
獨協地域と子ども法律事務所



自動体外式除細動器 (AED) を設置

自動体外式除細動器とは突然の心肺停止の救命措置を行う場合に使用する機器です。



喫煙ボックス (2024年4月現在)

キャンパス内は禁煙です。喫煙は、喫煙ボックス内でのみ可能です。